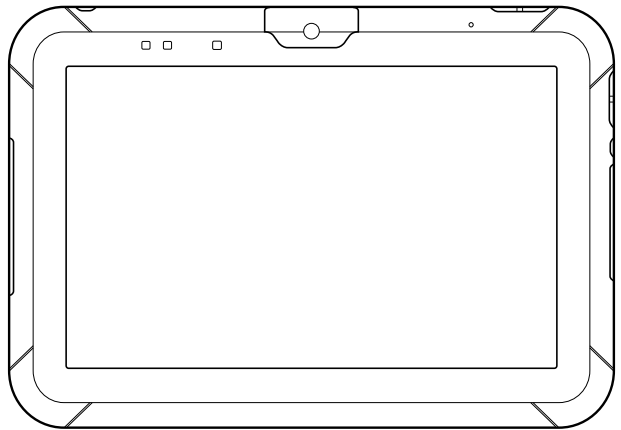


タブレット V-T500シリーズ

取扱説明書

ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。



Google™、Googleロゴ、Android™、AndroidロゴはGoogle, Inc.の商標または登録商標です。

BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、カシオ計算機はロゴ認証を取得し許可に基づき使用しています。



SD、SDHC、microSD、microSDHCはSD-3C, LLCの商標です。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)とHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの商標です。



FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

Adobe® Reader®は、Adobe Systems Incorporatedの米国および／または各国での商標または登録商標です。

その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。

ライセンスに関する詳細は「設定」⇒「タブレット情報」⇒「法的情報」⇒「オープンソースライセンス」を参照してください。

目次

第1章 必ずお読みください	7
安全上のご注意	8
使用上のご注意	19
はじめに	22
第2章 基本的な使い方	23
本機のシステム体系図	24
各部の名称とはたらき	26
充電電池パックの取り付け／取り外し	28
取り付け	29
取り外し	30
充電のしかた	31
LAN/USBクレードル、置くだけ充電器	31
カーアダプタ	31
デュアル充電器	32
ACアダプタ	32
電源ON/OFFとスリープ	33
電源ON	33
電源OFF(シャットダウン)	33
スリープ	33
初期設定	34
画面ロックの解除	34
業務メニュー用のカスタマイズ	35
カレンダーと連絡先の同期	36
microSDカードの取り扱い	44
取り付け	44
取り外し	44
SAMカードの取り扱い	46
取り付け	46
取り外し	47
SIMカードの取り扱い	48
取り付け	48
取り外し	49
SDメモ리카ードの取り扱い	50
SDメモ리카ードの装着	50
SDメモ리카ードを取り外すときは	50
NFCリーダー／ライターの取り扱い	51
非接触ICカード	51
RFIDタグ	51
HDMI接続について	53
リセットのしかた	54

第3章 本体内蔵ソフトウェア	55
標準アクセサリ	56
ソフトウェア一覧	56
カメラ	57
ブラウザ	58
メール	59
ギャラリー	60
音楽	62
時計	63
メッセージ	64
ユーザー	65
カレンダー	66
検索	68
電卓	69
キー入力	70
追加アクセサリ	72
ソフトウェア一覧	72
Adobe Reader	73
KINGSOFT Office	75
テキストメモ	76
手書きメモ	77
業務ブラウザ	79
ボイスレコーダー	80
設定	83
ソフトウェア一覧	83
無線とネットワーク	84
端末	85
ユーザー設定	86
システム	87
運用支援ツール	89
ソフトウェア一覧	89
業務メニュー	90
ログイン認証設定	92
業務ユーザー編集	93
セキュリティ設定	94
2X Client	95
盗難防止	96
Tapnow	98

システム運用ツール	102
ソフトウェア一覧	102
ファイルマネージャ	103
WLANツール	105
バックアップツール	106
本体間コピー	109
デモツール	110
ソフトウェア一覧	110
NFCデモ	111
QRコードスキャナー	112
第4章 オプション(別売品)	115
デジタイザペンの取り扱い	116
各部の名称	116
乾電池の装着のしかた	116
操作方法	117
ペン先の交換のしかた	118
ハンドベルトの取り扱い	119
取り付け	119
ネックストラップの取り付けかた	120
画面カバーの取り扱い	121
取り付け	121
スタンドとしての使いかた	122
LAN/USBクレードル(HA-M62IO)の取り扱い	123
各部の名称とはたらき	123
LAN/USBクレードルの電源の取り付けかたと接続	125
置くだけ充電器(HA-M30CHG)の取り扱い	128
各部の名称とはたらき	128
置くだけ充電器の電源の取り付けかたと接続	129
デュアル充電器(HA-M32DCHG)の取り扱い	131
各部の名称とはたらき	131
充電のしかた	133
2台以上の連結	134
ACアダプタ(AD-S36120A)の取り扱い	136

第5章 仕様	137
V-T500本体の仕様	138
オプション(別売品)の仕様	143
LAN/USBクレードル(HA-M62IO)	143
置くだけ充電器(HA-M30CHG)	143
デュアル充電器(HA-M32DCHG)	144
カーアダプタ(HA-M37CAC)	144
ACアダプタ(AD-S36120A)	144
ACアダプタ(AD-S90190C-JP)	144
充電機パック(HA-M20BAT)	144
第6章 付録	145
オープンソースライセンス	146
ライセンス使用アプリケーション一覧	146
ライセンス原文一覧	147
Apache License Version 2.0	147

第 1 章

必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



プラグを抜く

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

使用上のご注意

警告

■ 分解・改造しないでください



分解禁止

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。

■ 異常状態で使用しないでください



注意

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。

■ 異物が中に入ったときは



注意

- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 破損したときは



注意

- 万一、本機を破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 水などがかからないようにしてください



禁止

- V-T500は防沫仕様ですが、オプションのLAN/USBクレードル等は防沫仕様ではありませんので、水などがかからないようにしてください。また、V-T500を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 背面に金属製のものを付けしないでください



禁止

- V-T500の背面にアルミなどのシールや金属製のものを付けしないでください。発熱や発火・やけど・破損によるけがの原因となります。

■ LAN/USBクレードル等との間に異物をはさまないでください



禁止

- V-T500とLAN/USBクレードル等との間に異物をはさまないでください。発熱や発火・やけどの原因となります。

警告

■ 引火性ガスが発生する場所では



注意

- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本機の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

注意

■ 異物が入らないようにしてください



禁止

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 設置場所について



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。

■ 本機の上に重いものを置かないでください



禁止

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 表示画面の取り扱いについて



禁止

- タッチパネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。タッチパネルや液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをしして医師に相談してください。
 - ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

無線通信機能の取り扱いについて

警告

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



注意

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。

電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能をOFFにしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

注意

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)



注意

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。

使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「修理に関する窓口」に記載されている情報機器コールセンターまでお問い合わせください。

2.4 FH1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4DS/OF4

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

リチウムポリマー充電電池パックについて

危険



禁止

- 充電電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください。
- 充電電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 警告



禁止

- 充電電池パックを電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電電池パックを充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電電池パックを破裂、発火させる原因となります。
- 充電電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意



禁止

- 充電電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 静電気の発生する場所で充電電池パックを使わないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となる場合があります。
- 充電電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。

車での使用について

警告



禁止

- 自動車の運転中におけるご使用はしないでください。ご使用になる場合は必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所には置かないでください。



注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



禁止

- 別売のカーアダプタは、DC12/24Vマイナスアース車専用です。
- コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)新しいものと交換してください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



注意

- 使用するときは、必ず別売のカーアダプタをお使いください。専用品以外のカーアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。

注意



注意

- 車から降りるときは、必ずカーアダプタを抜いてください。車のバッテリーがあがることがあります。
- 車のエンジンを停止した状態でカーアダプタを長時間ご使用になると、車のバッテリーが消耗しますので、ご注意ください。



禁止

- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。
- エアバッグ(SRS AIRBAG)が装着されている車でご使用になる場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所に本機を置かないでください。

AC電源の使用について

警告



禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コード(特にプラグ部分)、ACアダプタ(特にプラグやジャック部分)の清掃には洗剤を使用しないでください。



注意

- 必ず専用ACアダプタをお使いください。専用品以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
- 万一電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにお問い合わせください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意



禁止

- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります(必ずプラグを持って抜いてください)。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプタについて

注意



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



- ACアダプタは年に1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部を清掃してください。
ACアダプタにほこりがたまると、湯気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。



- ACアダプタを吊り下げて使用しないでください。重みによりDCジャック内部が破損するおそれがあります。

重要なデータは控えをとっておいてください

注意



- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

アルカリ電池の取り扱いについて(デジタイザペン使用の場合)

危険



注意

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

警告



禁止

- 電池を火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しないでください。絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



注意

- 電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液を舐めた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



禁止

- 電池の⊕と⊖を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 新しい電池と一度使用した古い電池、種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- この電池は充電式には造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



禁止

- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池を変形させないでください。絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

⚠ 注意



注意

- 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長時間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、機器を破損させるおそれがあります。



禁止

- 電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 電池は、直射日光の強い所や炎天下の車内等の高温の場所で使用、放置しないでください。電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



注意

- 電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると漏液、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止

- 電池を水などで濡らさないでください。電池を発熱させるおそれがあります。



注意

- 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- 電池は、自治体の条例に従って廃棄してください。

■ 使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

- **電池が消耗した状態で使い続けしないでください。**
データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。
- **消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。**
電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。
- **各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。**
範囲外で使用すると故障の原因となります。
- **次のような場所での使用は避けてください。**
本機の故障、破損の原因になります。
 - ・ 静電気が発生しやすいところ
 - ・ 極端に高温または低温のところ
 - ・ 湿度の高いところ
 - ・ 急激な温度変化が起こるところ
 - ・ ほこりの多いところ
- **ディスプレイ(タッチパネル)は、必ず専用のデジタイザペンまたは指で操作してください。**
デジタイザペンまたは指以外で操作した場合は、タッチパネルが傷ついたり、動作上の障害が発生することがあります。
- **デジタイザペンは濡れた手で操作しないでください。**
- **本機の清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。**
本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- **電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。**
汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
- **薬品類に注意してください。**
シンナー、ガソリン、灯油、各種溶剤、油脂、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類などが付着すると樹脂ケース、カバーなどに変色や破損を生ずることがありますので、ご注意ください。
- **通信／給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、通信／給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。**

● **V-T500はJIS防沫型に準拠しておりますが、次の点に十分ご注意ください。**

- 多量の雨や水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- 雨中で長時間使用しないでください。
- 充電電池パックカバーやコネクタカバーを確実に閉めてご使用ください。
- 雨中でディスプレイ(タッチパネル)やキーを強く押さないでください。

● **磁気カードや磁気記録メディア、精密機器などをV-T500とLAN/USBクレードル等の間にはさんだり近づけたりしないでください。**

磁気カードや磁気記録メディアなどを近づけると、磁気の影響により大切なデータが消えることがあります。また、腕時計などの精密機器は壊れたりすることがありますので近づけないでください。

● **液晶パネルについて**

液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

● **無線LANについて**

IEEE802.11a/nのW52、W53は電波法により屋外での使用が禁じられています。

● **充電電池パックについて**

充電電池パックには寿命があります。充電のしかたによっては、充電電池パックの劣化が進み、容量が低下してご利用できる時間が短くなります。

充電電池パックを長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。

- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。充電の際は、充電LEDが緑色点灯(満充電)するまで充電してください。
- 頻繁に充電を繰り返すと寿命が短くなります。残量が少なくなってから充電してください。
- 指定の温度範囲で充電してください。指定の温度範囲は機器により違います。取扱説明書を参照してください。範囲外での充電は電池を劣化させる原因になります。
- 低温環境でのご使用は、充電電池パックの容量が低下してご利用できる時間が短くなります。また、充電電池パックの寿命も短くなります。
- 充電電池パックが冷えている状態での充電は電池を劣化させる原因になります。低温環境での作業後は、充電電池パックを常温に戻して(1時間程度放置して)から充電してください。
- 充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい充電電池パックと交換してください。
- 長期間保存する場合は充電電池パックが満充電の状態でご保存しないでください。長期間保存するときは、電池残量が30～50%の状態、低温下で保存してください。電池の劣化が少なくなります。
- 充電電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に、満充電状態での高温保存(使用)は、短期間での劣化を招くことがあります。

● Adobe PDF Readerについて

本製品にはAdobe Systems IncorporatedのAdobe PDF Readerを搭載しています。弊社にて動作確認は行っておりますが、弊社がお客様にすべての動作を「保証」するものではありません。

Adobe Readerの不具合や利用方法については<http://www.adobe.com/support/reader/>を参照してください。

● QRコードスキャナーについて

本製品にはZXingライブラリを使用した「QRコードスキャナー」をバーコード読み取りデモ用サンプルとして搭載しています。

弊社にて動作確認は行っておりますが、弊社がお客様にすべての動作を「保証」するものではありません。

ZXingライブラリは以下のサイトで公開されています。

<http://code.google.com/p/zxing/>

● マーケットについて

本製品のホーム画面には、マーケットアプリケーションとしてTapnow Marketがインストールされています。

● 本製品には2X Software社の2X Clientを搭載しています。

弊社にて動作確認は行っておりますが、弊社がお客様に全ての動作を「保証」するものではありません。

2X Clientの不都合や利用方法については<http://www.2x.com/>を参照してください。

● 本製品にはキングソフト株式会社のKINGSOFT Office for Android(試用版)を搭載しています。

弊社にて動作確認は行っておりますが、弊社がお客様に全ての動作を「保証」するものではありません。

KINGSOFT Office for Android(試用版)の不都合や利用方法については<http://www.kingsoft.jp/office/>を参照してください。

はじめに

- ・本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- ・本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- ・本書では、本機のプログラミング方法は記載いたしておりませんので、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- ・保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間(購入日)」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- ・万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- ・安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

この装置は、高周波利用設備の誘導式読み書き通信設備です。総務省の型式指定を受けています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

●本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp/csr/env/process/recycle/>】でご案内しております。

●本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力ください。

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

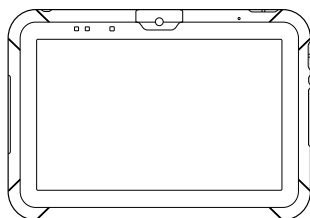
回収については、カシオホームページ【<http://www.casio.co.jp/csr/env/process/recycle/>】でご案内しております。

第 2 章

基本的な使い方

本機のシステム体系図

V-T500シリーズ
(本体)



同梱品一覧

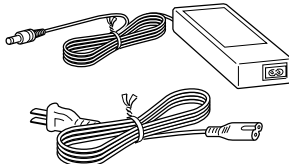
本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。

●本体

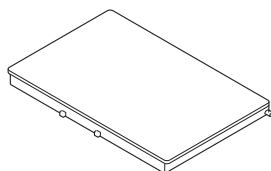
●ACアダプタ

●電源コード

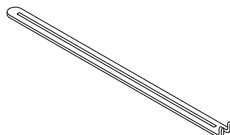
AD-S36120A



●充電電池パック



●microSDカード取り出し治具



●取扱説明書(本書)

●保証書

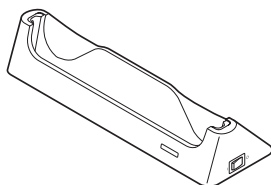
別売品一覧

LAN/USBクレードル

HA-M62IO

置くだけ充電器

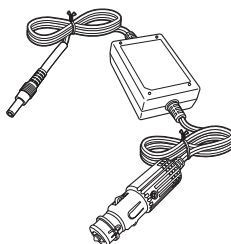
HA-M30CHG



図はLAN/USBクレードル
(HA-M62IO)です。

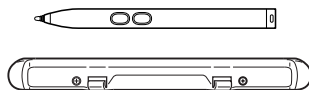
カーアダプタ

HA-M37CAC



デジタイザペン

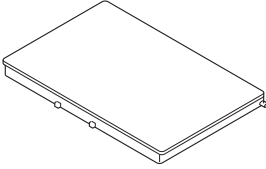
HA-M96PEN



別売品一覧

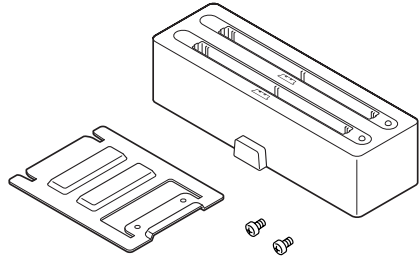
充電電池パック

HA-M20BAT



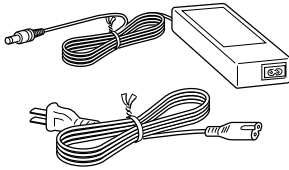
デュアル充電器

HA-M32DCHG



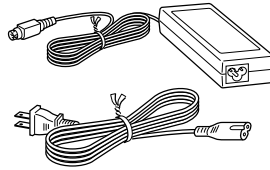
本体/LAN/USBクレードル/置くだけ充電器用ACアダプタ

AD-S36120A



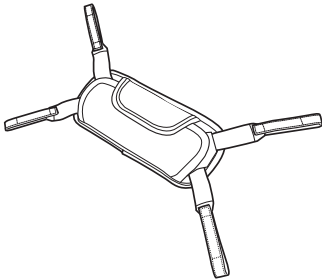
デュアル充電器用ACアダプタ

AD-S90190C-JP



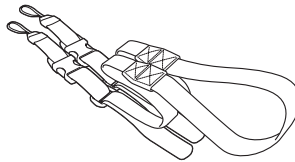
ハンドベルト

HA-M95HB



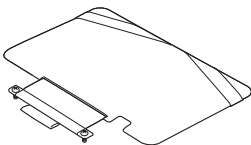
ネックストラップ

HA-M97ST



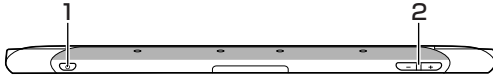
画面カバー

HA-M98DC



各部の名称とはたらき

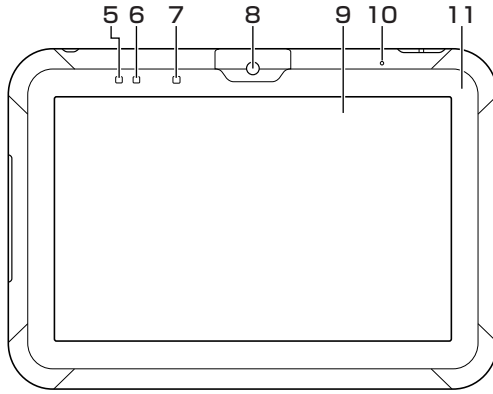
<天面>



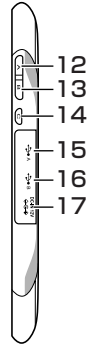
<左側面>



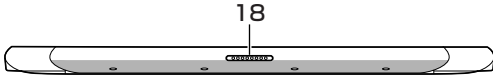
<正面>



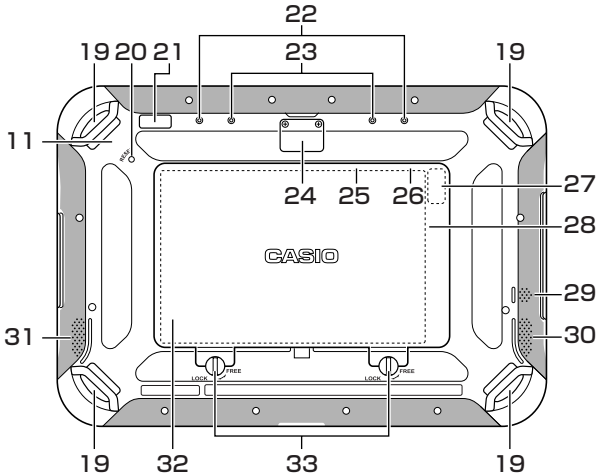
<右側面>



<底面>



<裏面>



1	電源キー(→P.33)	17	DCジャック(→P.31、32、136)
2	ボリュームキー	18	通信/給電端子
3	mini HDMI端子(→P.53)	19	ハンドベルト取り付け部(→P.119)/ ストラップホール(→P.120)
4	SDメモ리카ードスロット(→P.50)	20	リセットスイッチ(→P.54)
5	充電LED(→P.31、127、130、136)	21	アウトカメラ
6	通知LED	22	画面カバー取り付け部(→P.121)
7	照度センサー 周囲の明るさに応じてディスプレイの バックライトの明るさを自動調節しま す。	23	ペンホルダー取り付け部(→P.116)
		24	拡張用ポート
8	インカメラ	25	SAMカードスロット(→P.46) 充電電池パック格納部にあります。
9	ディスプレイ(タッチパネル)	26	SIMカードスロット(→P.48) (V-T500-WJ/V-T500-GJのみ) 充電電池パック格納部にあります。
10	マイク		
11	NFC読み取り部(→P.51)	27	設定スイッチ 本体起動条件を設定します。管理者用で すので通常は変更しないでください。
12	ファンクションAボタン アプリケーションを使うことができるボ タンです。		
13	ファンクションBボタン アプリケーションを使うことができるボ タンです。	28	microSDカードスロット(→P.44) 充電電池パック格納部にあります。
14	画面ロックボタン 画面ロックを設定・解除するとき押し ます。	29	ブザー
		30	スピーカー(L)
15	USB Aポート	31	スピーカー(R)
16	USBminiBポート 本体を別売のLAN/USBクレードル(HA- M62IO)に装着しているときは使用でき ません。	32	充電電池バックカバー(→P.29)
		33	充電電池バックカバーロックスイッチ (→P.29)

■ 充電電池パックの取り付け／取り外し

本機では2種類の電池を使います。

本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、充電電池パック(HA-M20BAT)を使います。

バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池： 動作用の充電電池パックのこと

バックアップ電池： 本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと

充電電池パック： メイン電池として使用する充電電池パック(HA-M20BAT)のこと

メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電電池パックに交換してください。充電電池パックは、デュアル充電器、置くだけ充電器、LAN/USBクレードル、カーアダプタ、ACアダプタを使用して充電できます。

充電方法は各機種種の取り扱いのページを参照してください。

■ 使用上のご注意

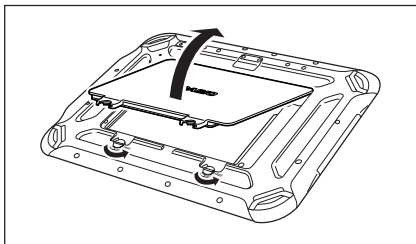
■ 重要なデータは控えをとっておいてください

- ・メイン電池は動作およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずさないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずすと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- ・充電電池パックは自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- ・充電電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電電池パックを交換してください。
- ・バックアップ動作の対象(メモリ、時計)を選択することができます。工場出荷時は「メモリのバックアップを優先」に設定されています。バックアップ電池が満充電の場合、メイン電池を外しても約10時間メモリ(RAM)と時計のバックアップを行うことができます。「時計のバックアップを優先」を選択した場合は、メモリ10分、時計72時間のバックアップを行うことができます。
- ・バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において8時間で満充電の状態になります。
- ・バックアップ電池の残量は、「設定」⇒「バックアップ電池」で確認することができます。

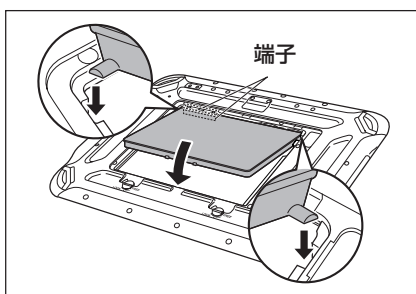
取り付け

1 本機を裏返します。ハンドベルトを取り付けている場合は分離させてください。
(P.119参照)

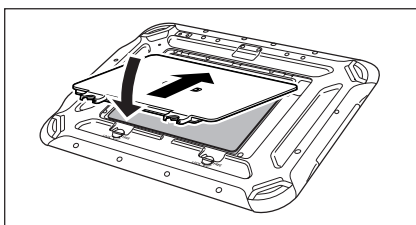
2 充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、充電電池パックカバーを取り外します。



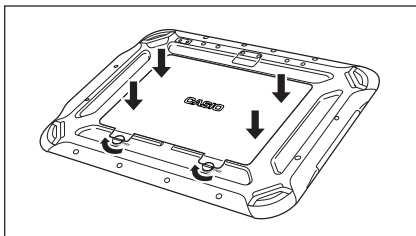
3 充電電池パックのラベルの印刷面を上にし、端子同士が向き合うように充電電池パックのツメを本体の溝に入れて装着します。



4 図のように充電電池パックカバーを元に戻します。

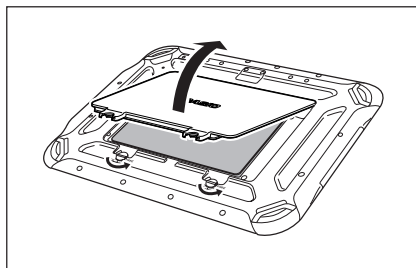


5 充電電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻します。図のように充電電池パックカバーをしっかりと押して、充電電池パックカバーを確実に閉めてください。

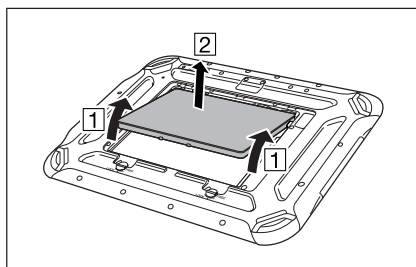


取り外し

- 1 電源がOFFになっているのを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 本機を裏返します。ハンドベルトを取り付けている場合は分離させてください。(P.119参照)
- 3 充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、充電電池パックを取り外します。



- 4 図のように側面の突起に指をかけて(1)充電電池パックを取り出します(2)。



使用上のご注意

- ・充電電池パックの交換は速やかに行ってください。
- ・10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体メモリ(RAM)に記録されたデータが消え、次回リセットからのスタートとなる場合があります。
- ・充電電池パックを取り外した状態でACアダプタやカーアダプタを接続したり、クレードル、置くだけ充電器に装着しないでください。本体メモリ(RAM)に記録されたデータが消え、次回リセットからのスタートとなる場合があります。
- ・充電電池パックを外した状態ではACアダプタを挿入してもオンしません。
- ・指定された電池以外は使用しないでください。
- ・充電電池パックカバーを閉めた後は、ロックスイッチを「LOCK」の位置まで確実に回転させてください。「LOCK」の位置まで回転させないと電源がONにできません。
- ・充電電池パックカバーが確実に閉まっていないと、防滴性能を確保できない可能性があります。

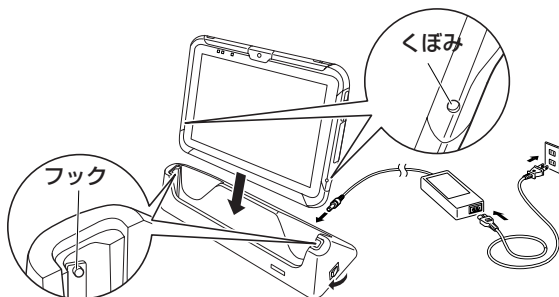
■ 充電のしかた

クレードル、充電器、カーアダプタ、ACアダプタ(AD-S36120A)を使ってV-T500に装着した充電電池パックを充電することができます。充電状態はV-T500の充電LEDで確認します。

デュアル充電器を使って充電地パックを充電することができます。

LAN/USBクレードル、置くだけ充電器

クレードルの固定用フックに本体の固定部(くぼみ)を合わせて装着します。



■ V-T500の充電LEDの表示

オレンジ色点灯：充電中(電池残量が6%以上)

赤色点灯：電池残量が0~5%(5%以下だと本体は起動しません。)
充電電池パックの異常

赤色点滅：充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

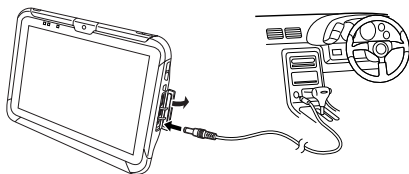
緑色点灯：充電完了

* 常温で30分以上経過しACアダプタを挿し直しても赤色点灯または消灯が続く場合は異常です。ただちに使用をやめてコールセンターにお問い合わせください。

* 電池残量が5%以下になった状態でACアダプタが正しく接続されると、約0.5秒消灯してから赤色点灯します。

カーアダプタ

カーアダプタを車のシガレットライターソケットに差し込みます。

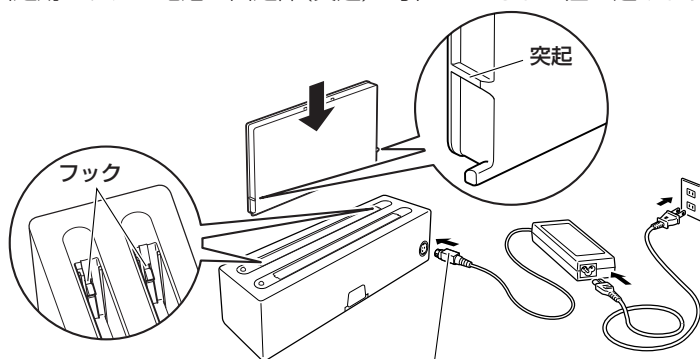


■ V-T500の充電LEDの表示

* 上記「LAN/USBクレードル、置くだけ充電器」を参照してください。

デュアル充電器

充電器の固定用フックに電池の固定部(突起)が引っかかるまで差し込みます。



彫刻面を上にしてカチッと音がするまで
確実に差し込みます。

※3台まで連結することができます。連結のしかたはP.134を参照してください。

■ 充電表示用LEDの表示

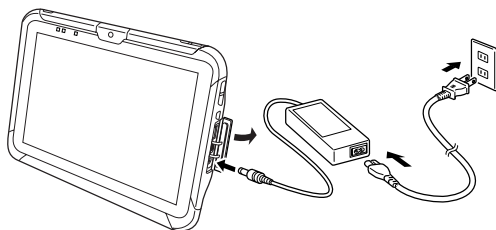
消灯： 充電しないとき

オレンジ色点灯： 充電中

赤色点灯： 充電電池パックの異常または充電可能温度(約0~40℃)でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

ACアダプタ



■ V-T500の充電LEDの表示

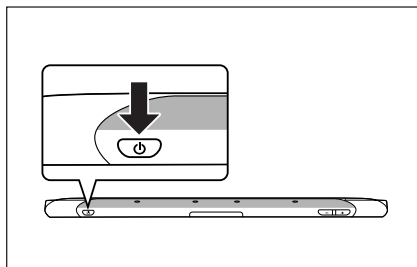
*前のページの「LAN/USBクレードル、置くだけ充電器」を参照してください。

電源ON/OFFとスリープ

電源ON

1 通知LEDが緑色点灯するまで(約1秒)電源キーを押します。

- ・ 起動画面が表示されます。
- ・ 表示される画面は設定により異なります。
- ・ 電源ONの状態ですら一定時間使用しないと、自動的にスリープ状態になります。



使用上のご注意

- ・ ACアダプタを接続しても電池残量が5%以下だと充電LEDが赤色点灯し電源キーを押しても起動しません。
- ・ 電池残量が6%以上になるとオレンジ色に点灯し自動的に起動します。

電源OFF(シャットダウン)

1 「電源を切る」と表示されるまで、電源キーを2秒以上長押しします。

2 「OK」をタップします。

メモ

- ・ 電源OFF状態では本体の動作は完全に停止します。
- ・ 長時間動作させない場合は電源OFFしてください。
- ・ ACアダプタやクレードルなどにより外部からの電源が接続されているときは再起動になります。

スリープ



1 電源ONの状態ですら電源キーを押します。

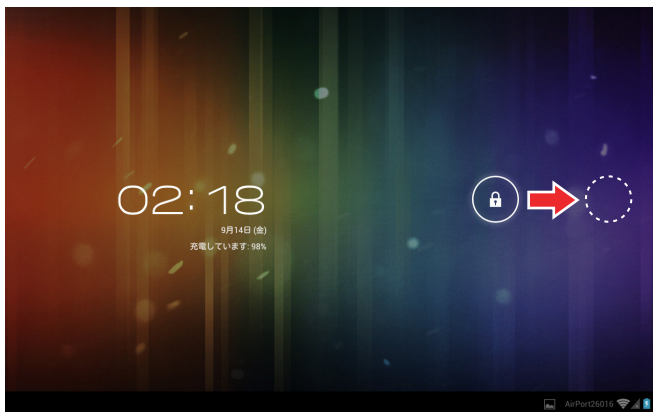
メモ

- ・ スリープ状態では、画面は消えています但し本体は動作しています。
- ・ 作業状態は保持します。電源ONですぐ使えるようになります。

初期設定

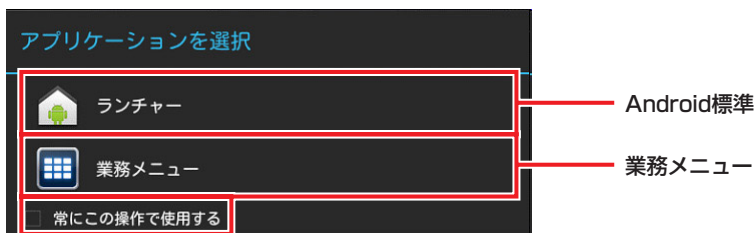
画面ロックの解除

- 1 起動画面の  にタッチし、右側に現れる  までドラッグしてロックを解除します。



工場出荷状態では、以下のメニューが表示されます。

実際の運用にしたがって選択してください。



ホームを押下した際、常に上記設定に従う場合にチェックを入れます。

業務メニュー用のカスタマイズ

業務メニューを利用する場合は、以下2点のカスタマイズが必要となります。

- 1 運用に合わせたメニューを構築する必要があります。メニュー構築方法は「業務メニュー」(P.90)を参照してください。
- 2 設定画面でセキュリティを「なし」に指定してください。



カレンダーと連絡先の同期

Googleのアカウントと同期するには以下の設定が必要です。また、事前にGoogleにアカウントを作成しておく必要があります。(接続サービスはGoogleのみです。)

■ 同期の作成

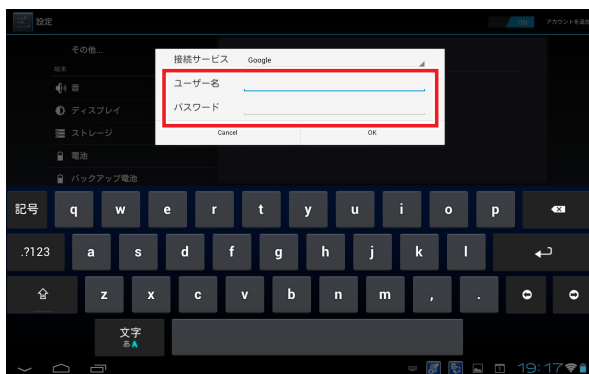
- 1 「設定 - アカウントと同期」の「アカウントを追加」を選択します。



- 2 「アカウントの追加」画面で「カレンダーと連絡先の同期」を選択します。



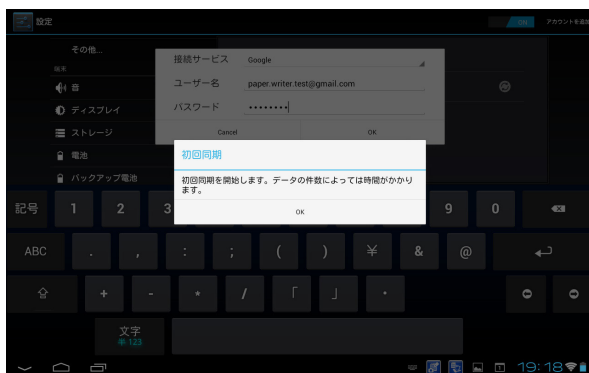
3 同期対象のGoogleのユーザー名とパスワードを入力します。



4 次の画面で「承認する」を押します

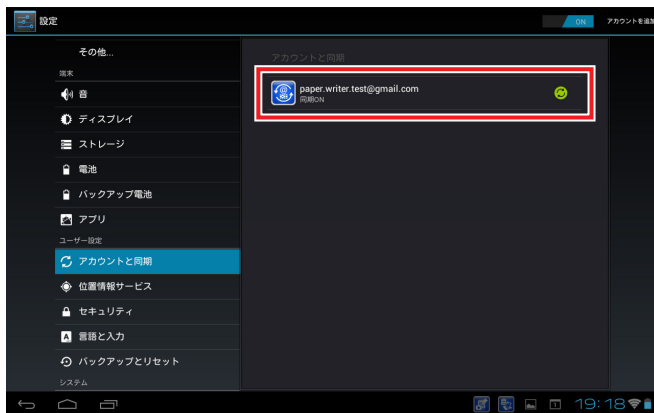


5 「初回同期」画面で「OK」を指定すると初回の同期処理が始まります。



■ 同期の設定

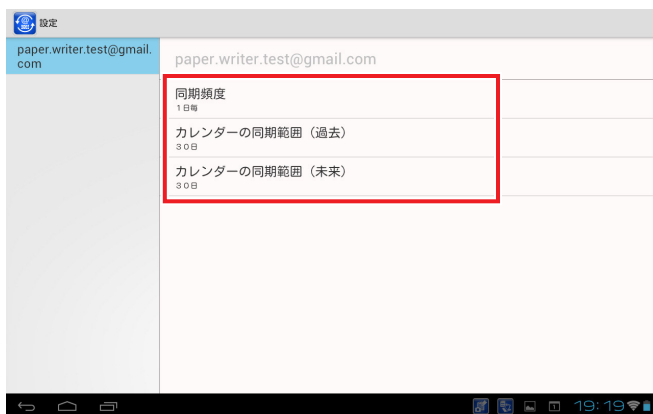
- 1 「設定 - アカウントと同期」で同期設定を行うアカウントを選択します。



- 2 「同期設定」の「アカウントの設定」を選択します。



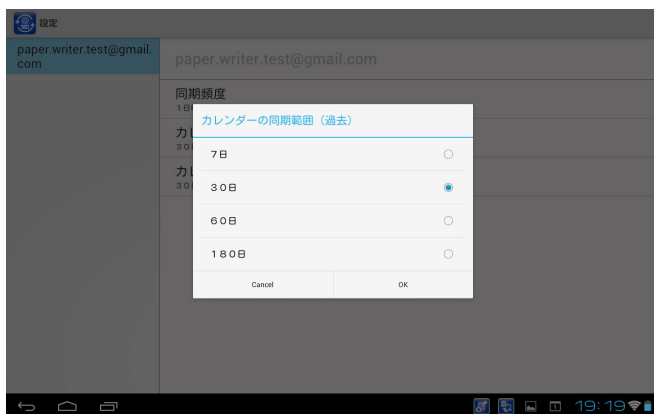
3 「設定」画面から同期頻度とカレンダーの同期範囲を設定します。



4 同期頻度は、6時間毎/1日毎/7日毎 から指定できます。ここで設定したタイミング以外にも、端末のカレンダーおよびアドレス帳のデータを修正した場合はそれぞれの同期処理を行い、端末データのアップロードとサーバーデータのダウンロードを行います。



- 5 カレンダーの同期範囲は過去と未来に関して、7日/30日/60日/180日 から指定できます。



■ 同期の停止

- 1 「同期設定」で「カレンダーを同期」および「連絡先を同期」のチェックを外すと、それぞれの同期処理を停止します。



■ アカウントの削除

- 1 「同期設定」で「アカウントを削除」を選択するとアカウントを削除し、そのアカウントに登録していた端末内のデータを全て削除します。



■ 今すぐ同期

- 1 「同期設定」で「今すぐ同期」を選択すると同期処理を開始します。



使用上のご注意

● Google標準の同期との仕様の相違点

CalDAV、CardDAVによる同期処理は、以下の点でGoogle標準の同期処理と動作が異なります。

- 連絡先の電話番号の種別が「携帯」、「勤務先」、「自宅」、「FAX(勤務先)」、「FAX(自宅)」、「ポケベル」、「カスタム」以外の項目は同期しても、全て「その他」になります。
- 連絡先のグループ情報は同期されません。グループ設定されている連絡先はグループなしで登録されます。ただしすでにグループ情報が設定済みの場合には、グループ情報がクリアされることはありません。
- 連絡先の統合情報は同期されません。統合されている連絡先は別々の連絡先として登録されます。ただしすでに統合情報が設定済みの場合には、統合情報がクリアされることはありません。
- 連絡先の「インターネット通話」の項目は同期されません。ただしすでに「インターネット通話」が登録済みの場合には、削除されることはありません。
- 連絡先の「よみがな」は、端末での設定内容は同期されません。
- 連絡先の「住所」を「カスタム」に設定しても、同期すると「その他」になります
- 連絡先の「誕生日」に設定されている「日付」は、年を入力しないと同期されません
- 連絡先の「誕生日」を複数設定していた場合、同期すると最後に設定されている「誕生日」以外は削除されます。
- カレンダーのスケジュールに招待された時に設定できる出席者コメントは同期されません。
- カレンダーの繰り返しスケジュールのひとつを個別に修正した場合に、繰り返しスケジュールとの関連情報は同期されません。このため、繰り返しスケジュールを削除した場合にも、個別に修正されているスケジュールは削除されずに残ります。
- Googleサーバーでカレンダーのスケジュールの「通知」のみを変更しても同期されません。
- カレンダーのスケジュールの「通知」を端末ですべて削除して同期すると、Googleサーバーの「デフォルトの通知方法」で設定されている内容になります。
- 1アカウントで複数のカレンダーを使用している場合にサブのカレンダーに追加したスケジュールは、メインのカレンダーにも追加されます。

また、以下の項目はGoogle標準の同期処理でも同期対象外となっています。

- Googleのサーバー側で連絡先に追加できる「カスタムフィールド」
- Googleのサーバー側で連絡先に追加できる「ファイル形式」
- カレンダーのスケジュール毎に設定される「色」

● Googleサーバーと端末で同じスケジュールまたは連絡先を修正した場合

- Googleサーバーと端末で同じスケジュールまたは連絡先を修正した場合には、サーバーのデータが優先されます。端末で修正された内容は削除されます。

microSDカードの取り扱い

本機はmicroSDカードに対応しています。

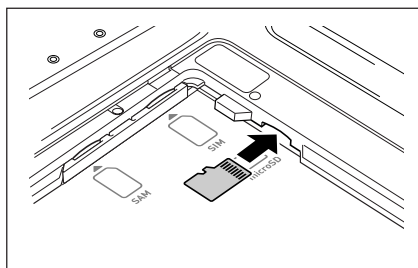
カードスロットは充電電池パック格納部にあります(P.26、27参照)。取り付け・取り外しの際は、充電電池パックを取り出してから行ってください。

充電電池パックの取り付け・取り外しはP.28～30を参照してください。

カードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

取り付け

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 充電電池パックを取り出します。
- 3 カードの表裏・向きを確認し、表示に合わせてスロットの奥に突き当たるまで差し込みます。
 - ・裏側(端子面)を上にして、カチッと音がするまで奥に差し込み固定します。



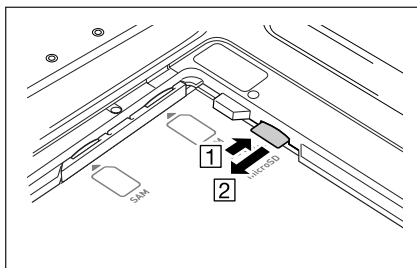
- 4 充電電池パックを取り付けます。

取り外し

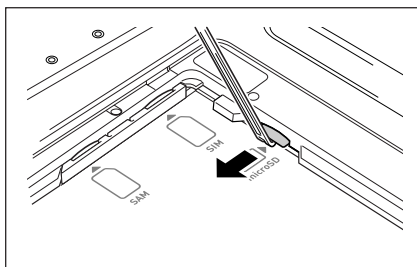
- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 充電電池パックを取り出します。

3 カードを軽く押し込みます(①)。

カードが押し出されます(②)。



- カードが抜きづらいときは、同梱されているmicroSDカード取り出し治具を使ってください。図のように、治具のかぎ形の部分をカードの突起に引っ掛けて抜き出します。



4 カードを引き抜き、充電電池パックを取り付けます。

使用上のご注意

- カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、カードやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- カードを取り付けるときに端子やIC部分に触れると、汚れたり静電気などで破損の原因となる場合があります。
- カードが正しく装着されないと充電パックが正しく装着できません。そのときは、カードを正しく装着し直してください。
- 10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがありますので、カードの装着(交換)は10分以内に行ってください。
- カードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりカードを取り出したりしないでください。カードや記憶データを破損するおそれがあります。
- カードを落として破損したり紛失したりしないようご注意ください。

SAMカードの取り扱い

本機はSAMカードに対応しています。

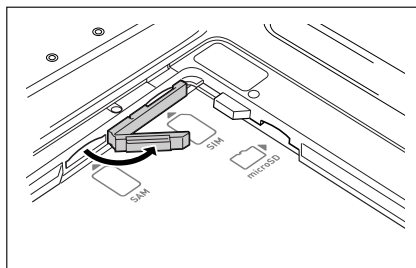
カードスロットは充電電池パック格納部にあります(P.26、27参照)。取り付け・取り外しの際は、充電電池パックを取り出してから行ってください。

充電電池パックの取り付け・取り外しはP.28～30を参照してください。

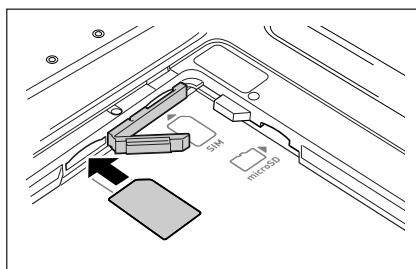
カードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

取り付け

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 充電電池パックを取り出します。
- 3 サポートカバーを開けます。



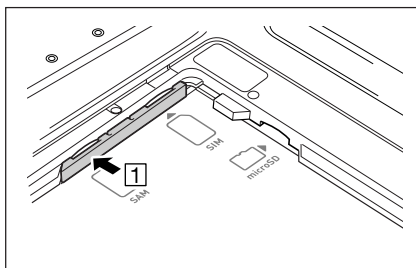
- 4 カードの表裏・向きを確認し、表示に合わせてスロットに差し込みます。
 - ・ 切り欠き部分を右奥にして差し込みます。



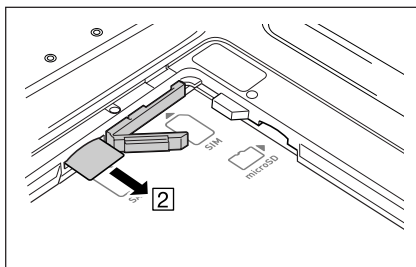
- 5 サポートカバーを閉じ、カバーの上から中のカードを押します。
 - ・ カチッと音がするまで奥に押し込んで固定してください。
- 6 充電電池パックを取り付けます。

取り外し

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 充電電池パックを取り出します。
- 3 サポートカバーの上からカードを軽く押し込みます (1)。



カードが押し出されます (2)。



- 4 カードを引き抜き、サポートカバーを閉じます。
- 5 充電電池パックを取り付けます。

使用上のご注意

- ・カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、カードやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- ・カードを取り付けるときに端子やIC部分に触れると、汚れたり静電気などで破損の原因となる場合があります。
- ・カードが正しく装着されないと充電パックが正しく装着できません。そのときは、カードを正しく装着し直してください。
- ・10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがありますので、カードの装着(交換)は10分以内に行ってください。
- ・カードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりカードを取り出したりしないでください。カードや記憶データを破損するおそれがあります。
- ・カードを落として破損したり紛失したりしないようご注意ください。

SIMカードの取り扱い

本機はSIMカードに対応しています。

SIMカード対応の有無はモデルにより異なります。対応モデルについてはP.27を参照してください。

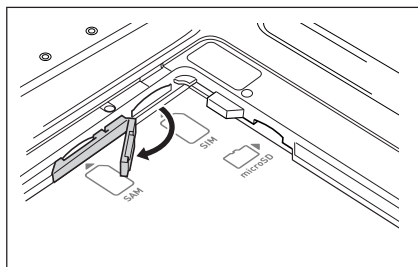
カードスロットは充電電池パック格納部にあります(P.26、27参照)。取り付け・取り外しの際は、充電電池パックを取り出してから行ってください。

充電電池パックの取り付け・取り外しはP.28～30を参照してください。

カードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

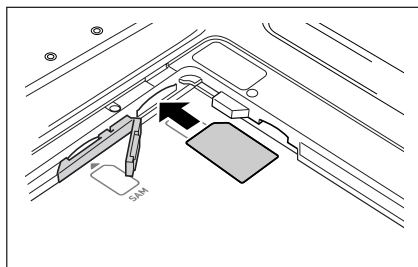
取り付け

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 充電電池パックを取り出します。
- 3 サポートカバーを開けます。



- 4 カードの表裏・向きを確認し、表示に合わせてスロットに差し込みます。

- ・ 切り欠き部分を右奥にして差し込みます。



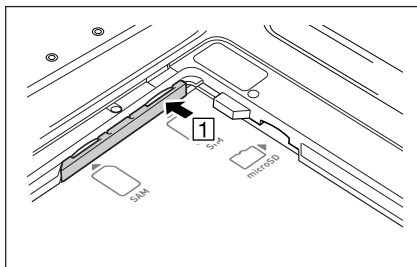
- 5 サポートカバーを閉じ、カバーの上から中のカードを押します。

- ・ カチッと音がするまで奥に押し込んで固定してください。

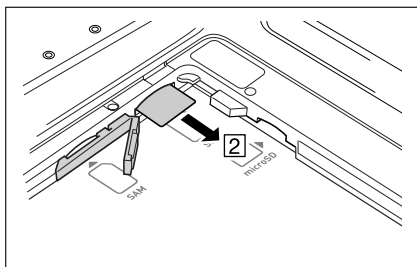
- 6 充電電池パックを取り付けます。

取り外し

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 充電電池パックを取り出します。
- 3 サポートカバーの上からカードを軽く押し込みます (1)。



カードが押し出されます (2)。



- 4 カードを引き抜き、サポートカバーを閉じます。
- 5 充電電池パックを取り付けます。

使用上のご注意

- ・カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、カードやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- ・カードを取り付けるときに端子やIC部分に触れると、汚れたり静電気などで破損の原因となる場合があります。
- ・カードが正しく装着されないと充電パックが正しく装着できません。そのときは、カードを正しく装着し直してください。
- ・10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータが消えることがありますので、カードの装着(交換)は10分以内に行ってください。
- ・カードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりカードを取り出したりしないでください。カードや記憶データを破損するおそれがあります。
- ・カードを落として破損したり紛失したりしないようご注意ください。



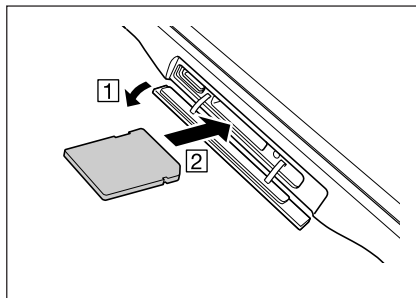
SDメモリーカードの取り扱い

本機はSDメモリーカードに対応しています。

SDメモリーカードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

SDメモリーカードの装着

- 1 本体左側面のSDメモリーカードスロットのカバーを開け(①)、SDメモリーカードの表側が本機の表側を向くように奥に突き当たるまで差し込みます(②)。



- 2 SDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

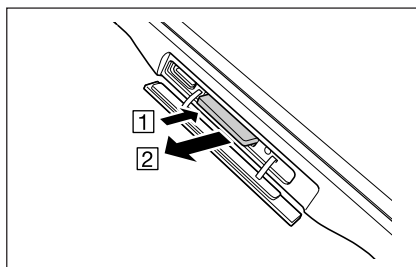
使用上のご注意

- ・カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- ・SDメモリーカードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりSDメモリーカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカードや記憶データが破損するおそれがあります。
- ・SDメモリーカードスロットのカバーが開いているとSDメモリーカードにアクセスできません。カバーは必ず閉じてください。

SDメモリーカードを取り外すときは

- 1 SDメモリーカードスロットのカバーを開け、SDメモリーカードを軽く押し込みます(①)。

SDメモリーカードが押し出されます(②)。



- 2 SDメモリーカードを引き抜き、SDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

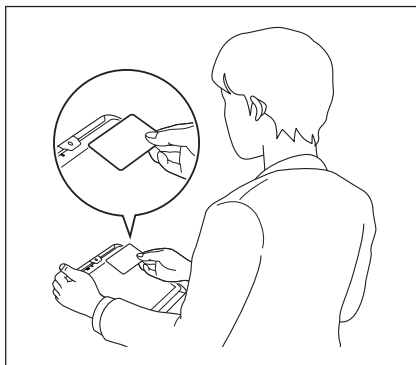
NFCリーダー／ライターの取り扱い

NFCとは、かざすだけでデータの読み書きができるRFID(Radio Frequency Identification)の技術方式の1つです。

物品管理などに使われるRFIDタグや社員証などに使われる非接触ICカードを読み取ることができます。本機の表・裏両面から読み取ることができます。

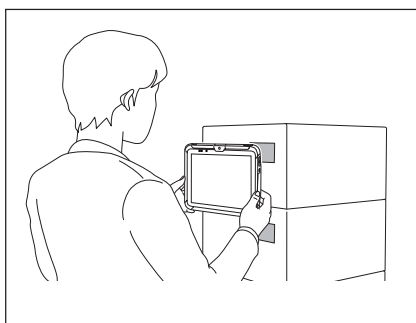
非接触ICカード

- 1 本機の読み取り部と非接触ICカードが平行になるようにカードをかざします。
または、本機をカードにかざします。



RFIDタグ

- 1 本機の読み取り部とRFIDタグが平行になるように本機をかざします。



使用上のご注意

＜非接触ICカード、RFIDタグ共通＞

- 本機のNFCリーダー機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 非接触ICカード、RFIDタグは読み取り部面と平行になるように接触して読ませてください。
- かざす際に読み取り部にカードやタグを強くぶつけないようにご注意ください。
- 読み取れない場合は本機を前後左右にずらしてかざしてください。

＜非接触ICカード＞

- 非接触ICカードの周囲に金属があると読み取りにくくなります。お財布などにカードを入れている場合は、取り出して読ませてください。
- 複数のカードを重ねて読ませると正確に読み取らない場合があります。
- カードの読み取りの際は、なるべく体から離してください。人体へ向けてのご使用は避けてください。

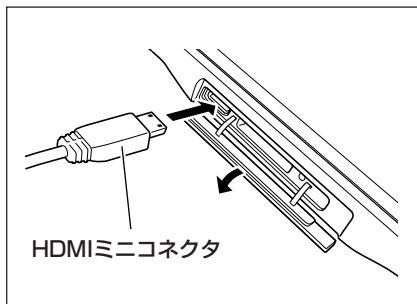
＜RFIDタグ＞

- RFIDの周囲に金属があると読み取りにくくなります。タグの付近に金属がある場合は金属からタグを離すか、金属対応されたタグを使用してください。
- 複数のタグが重なると読み取りにくくなったり正確に読み取らない場合があります。タグとタグとの間は十分な距離を取るよう設置してください。

HDMI接続について

市販のHDMIケーブルを使って、HDMI対応の外部機器を本機に接続することができます。

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。
電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。(P.33参照)
- 2 本体左側面のmini HDMI端子のカバーを開け、市販のHDMIケーブルで外部機器を接続します。



使用上のご注意

- ケーブルを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切ってください。
- 接続する外部機器の設定につきましては、その機器の取扱説明書に従ってください。

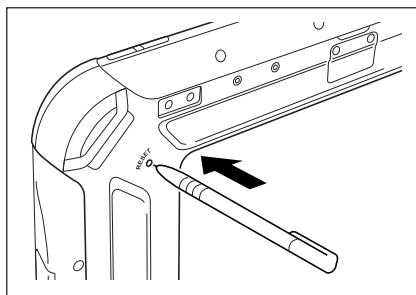
リセットのしかた

「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中等で、まだ保存していなかったRAMデータは消去されますが、フラッシュROM上に保存されているデータや各種設定などは基本的にそのまま残ります。

誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機背面のリセットスイッチをシャープペンシル(芯を出さない状態)など先の細い棒のようなもので押します。

リセット処理が開始されます。



第 3 章

本体内蔵ソフトウェア

ソフトウェア一覧

アイコン	ソフトウェア名称
	カメラ
	ブラウザ
	メール
	ギャラリー
	音楽
	時計
	メッセージ
	ユーザー
	カレンダー
	検索
	電卓
	キー入力

カメラ

静止画や動画を撮影します。



- ① 外側カメラと内側カメラの切替
- ② シャッター
- ③ 設定
- ④ ズームイン・ズームアウト
- ⑤ パノラマ画像を撮影
- ⑥ 動画を撮影
- ⑦ 静止画を撮影

■ 設定

設定では、以下の撮影に関するモードの設定をすることができます。

フラッシュモード／ホワイトバランス／露出／撮影モード／カメラ設定

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本ブラウザ以外に業務ブラウザも搭載されています。



- ① タブを閉じる
- ② 新しいタブを開く
- ③ メニュー表示
- ④ ページ遷移
- ⑤ ページ再読み込み
- ⑥ URL表示／入力
- ⑦ ブックマークに追加
- ⑧ 検索
- ⑨ ブックマーク一覧

■ メニュー表示

メニュー表示では、下記のブラウザの動作などを設定することができます。

再読み込み(停止)／進む／新しいタブ／新しいシークレットタブ／
ページを共有／ページ内を検索／デスクトップ版サイトをリクエストする／
オンラインで読めるよう保存／ページ情報／設定

■ ページ遷移

前後のページに遷移します。

メール

Eメールを送受信します。



① メール分類フォルダ

② 新規メール作成

③ 検索

④ 送受信

⑤ 設定

■ 検索

受信メールの中から指定されたキーワードに合致するメールを検索します。

■ 送受信

メールの送受信を行います。

■ 設定

アカウント情報や受信頻度の設定、通知設定、サーバー設定などメールを使用する際の環境設定を行います。

ギャラリー

静止画や動画の閲覧／整理ができます。

初期画面では、並び替え種別に従ったタイル状表示を行います。



- ① 並び替え種別
- ② カメラアプリ起動
- ③ メニュー表示
- ④ 並び替え種別毎のグループをタイル状表示

■ 並び替え種別

表示されている画像の並び順を以下の中から選択することができます。

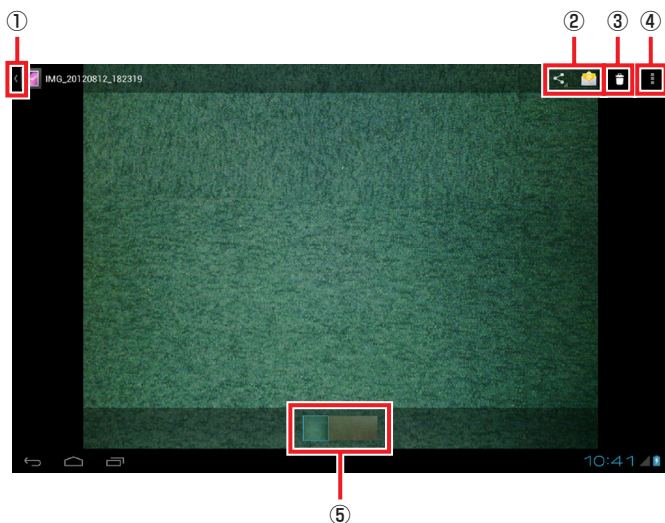
アルバム／ロケーション／時間／人物／タグ

■ メニュー表示

メニュー表示では、以下のギャラリーでの動作を設定することができます。

アルバムを選択(グループの選択)／オフラインで使用する／更新／設定

静止画を選択すると対象画像がフル画面で表示されます。



- ① 一覧に戻る
- ② 共有
- ③ 削除
- ④ メニュー表示
- ⑤ グループ内の画像一覧表示

■ 共有

下記の機能を使用して画像の共有をすることができます。

Bluetooth／メール送信

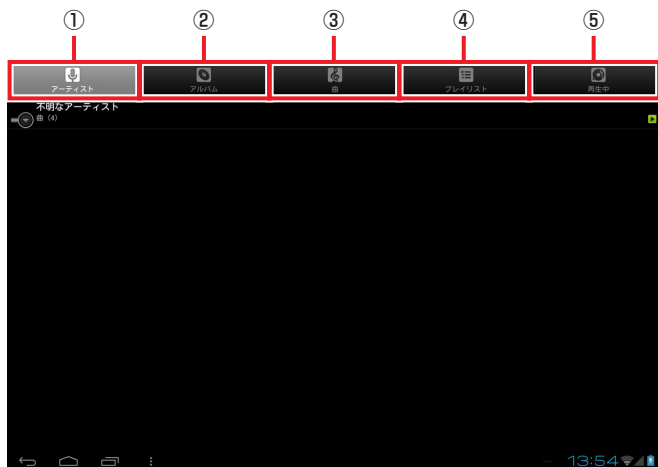
■ メニュー表示

メニュー表示では、画像の表示や編集に関して下記の設定をすることができます。

スライドショー／編集／トリミング／登録／詳細情報

音楽

音声データを再生します。



- ① アーティスト
- ② アルバム
- ③ 曲
- ④ プレイリスト
- ⑤ 再生中

■ アーティスト

アーティスト別に保存されている曲の一覧が表示されます。

アーティスト情報が登録されていない場合は、「不明なアーティスト」と表示されます。

■ アルバム

アルバム別に保存されている曲の一覧が表示されます。

■ 曲

保存されている曲の一覧が表示されます。

■ プレイリスト

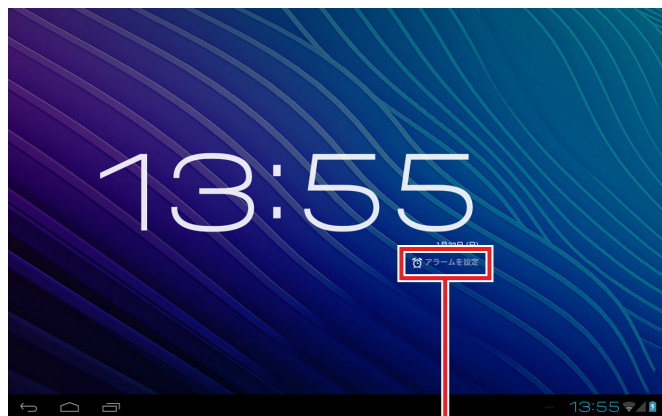
曲をグループ化したグループ(プレイリスト)の一覧が表示されます。

■ 再生中

現在再生中の曲が表示されます。

時計

日時表示、及び、アラームの設定ができます。

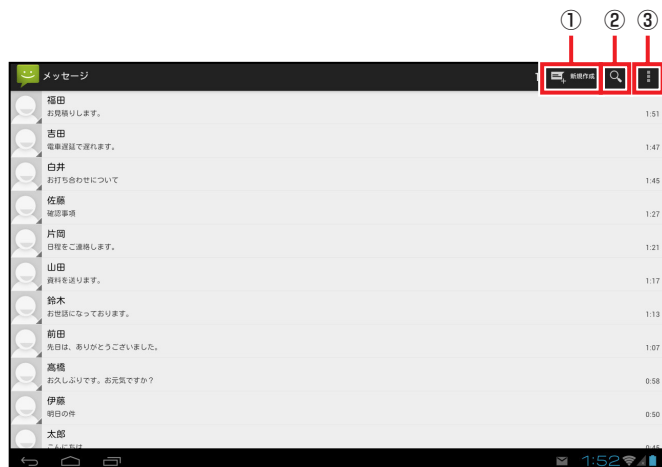


①

① アラーム設定

メッセージ

ショートメッセージサービス(SMS)のアプリケーションです。
WANモデルで利用することができます。



- ① 新規メッセージ作成
- ② 検索
- ③ 設定

■ 検索

メッセージの中から指定されたキーワードに合致するメッセージを検索します。

■ 設定

メッセージの保存方法やメッセージ送受信の設定、通知に関する設定などメッセージを使用する際の環境設定を行います。

ユーザー

住所、メールアドレス等を管理します。



- ① 表示区分選択
- ② 検索
- ③ 新規登録
- ④ 現情報の編集
- ⑤ メニュー表示

■ 表示区分選択

表示区分選択では、以下の中から表示対象を選択します。

グループ／すべて／お気に入り

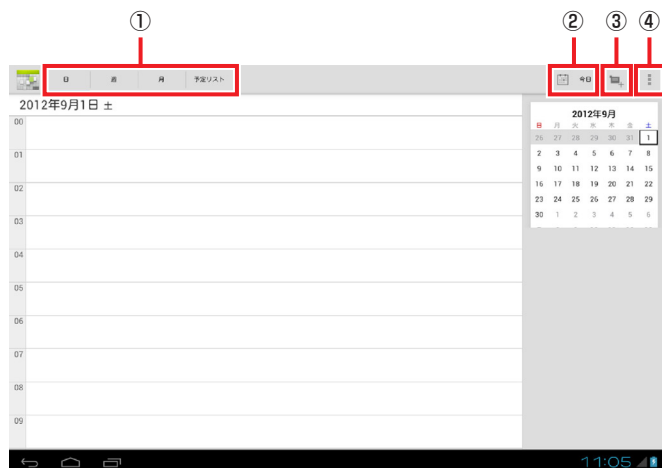
■ メニュー表示

メニュー表示では、ユーザー情報に関する操作を下記の中から指定します。

共有／削除／表示する連絡先／インポート・エクスポート／アカウント

カレンダー

カレンダーを利用して、スケジュール管理、イベント登録／確認ができます。
日単位での表示画面は下記レイアウトとなります。

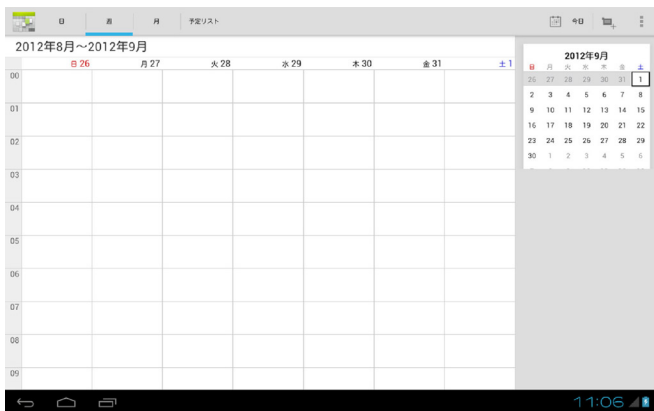


- ① 表示モード選択
- ② 本日表示
- ③ 予定を作成
- ④ メニュー表示

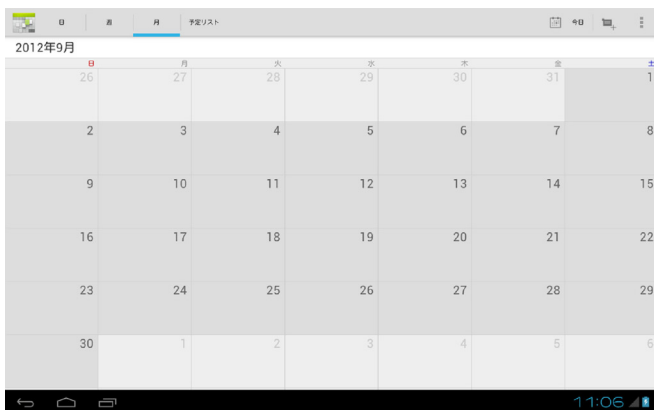
■ メニュー表示

メニュー表示では、カレンダーに関する操作を以下の中から選択します。
更新／検索／コントロールを非表示(コントロールを表示)／設定

週単位での表示画面は下記レイアウトとなります。

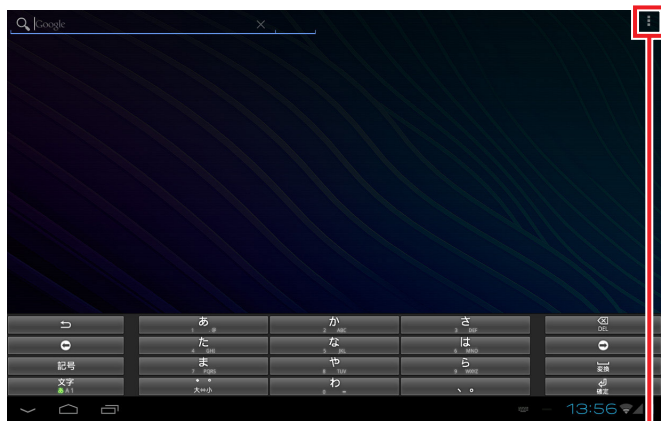


月単位での表示画面は下記レイアウトとなります。



検索

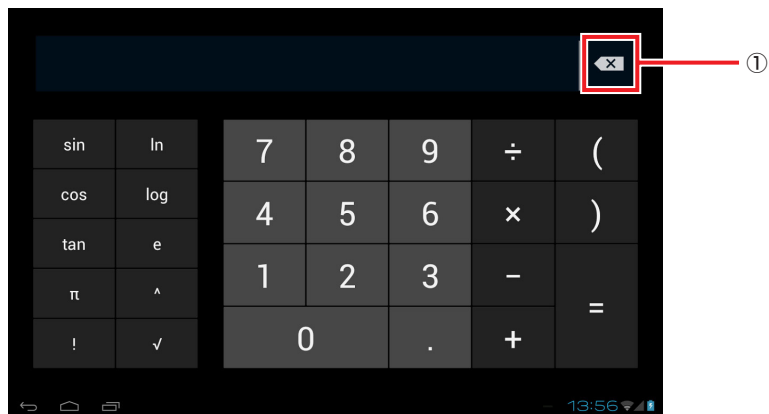
ウェブ、端末内の検索をします。



検索設定でチェックがついているものが検索対象となります。

電卓

数値演算、関数演算ができます。



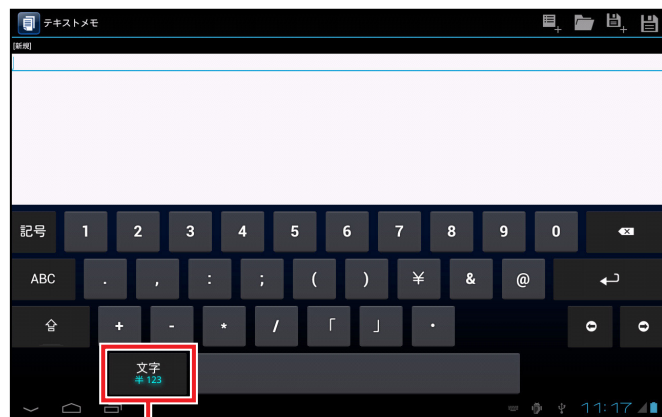
① 1文字削除

キー入力

キー入力手段として、OpenWnnを搭載しています。

キー配列は、QWERTY配列／携帯配列の切り替えが可能です。

QWERTY配列(標準的アルファベットキー配列)



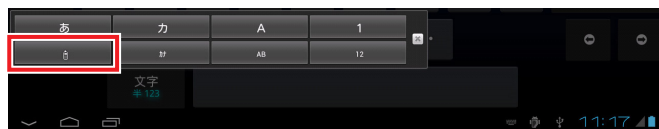
①

① 入力モード

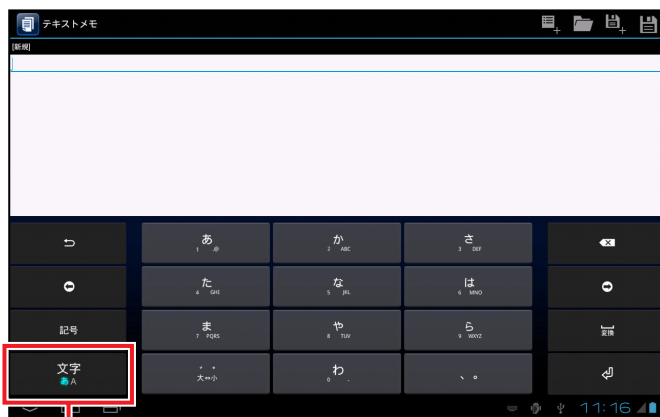
■ 入力モード

トグルで[あ][A][1]入力モードが切り替わります。

長押しすると詳細入力モード選択画面が開き、左下アイコンを選択すると、キー配列を携帯配列に変更できます。



携帯配列



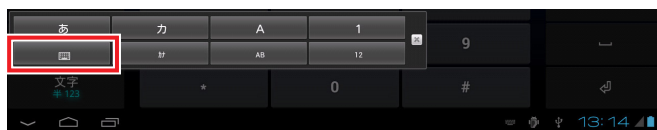
①

① 入力モード

■ 入力モード

トグルで[あ][A][1]入力モードが切り替わります。

長押しすると詳細入力モード選択画面が開き、左下アイコンを選択すると、キー配列をQWERTY配列に変更できます。



追加アクセサリ

ソフトウェア一覧

アイコン	ソフトウェア名称
	Adobe Reader
	KINGSOFT Office
	テキストメモ
	手書きメモ
	業務ブラウザ
	ボイスレコーダー

Adobe Reader

PDF文書の閲覧ができます。

ファイルマネージャーでPDF文書を選択すると本ソフトウェアで対象文書を表示します。



- ① ホーム画面
- ② 表示モード
- ③ 描画編集
- ④ 共有
- ⑤ テキスト検索
- ⑥ スライドバー

■ ホーム画面

ホーム画面では、閲覧するドキュメントを選択する下記のメニューが表示されます。

最近見た物／ドキュメント一覧／新機能

■ 表示モード

表示モードでは、閲覧の方法を下記の中から選択することができます。

連続／単一ページ／テキストの折り返し／自動

■ 描画編集

編集が許可されているドキュメントに関して、以下の編集を行うことができます。

コメント／ハイライト／取り消し線／下線／テキスト追加／
フリーハンド描画／署名

■ 共有

下記の機能を使用してドキュメントの共有をすることができます。

Bluetooth／メール／署名用に送信

■ スライドバー

バーをスライドすることでページの移動をすることができます。

KINGSOFT Office

キングソフト株式会社製「KINGSOFT Office for Android」(試用版)です。

7日間、無料で全ての機能を使用できます。

試用期間終了後も全ての機能を使用する場合は、キングソフトオンラインショップにて購入したシリアル番号を入力してください。

入力しない場合、ファイルの保存機能がロックされた閲覧専用アプリとなります。

テキストメモ

テキスト形式メモの表示／編集機能を提供します。

ファイルマネージャでテキスト文書を選択すると本ソフトウェアで対象文書を表示します。

また、本アプリを起動後「ファイルを開く」で任意のテキストファイルを選択表示できます。

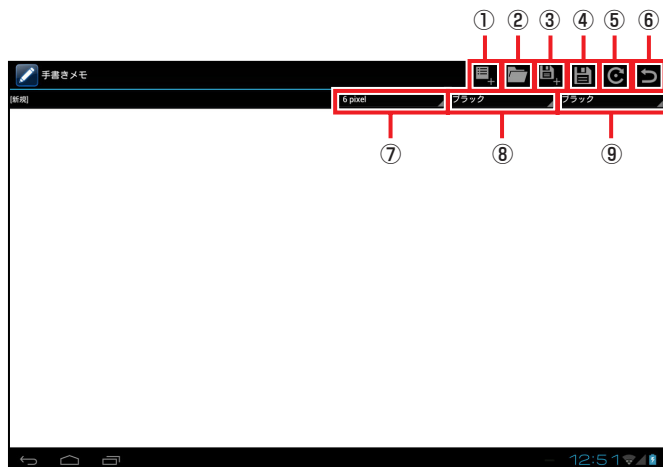


- ①新規作成
- ②ファイルを開く
- ③名前を付けて保存
- ④上書保存

手書きメモ

手書き(画像)形式メモの表示／編集機能を提供します。

本アプリを起動後「ファイルを開く」で任意の画像(PNG/JPG)を選択表示できます。



- ①新規作成
- ②ファイルを開く
- ③名前を付けて保存
- ④上書保存
- ⑤画像回転
- ⑥やり直し
- ⑦線の太さ
- ⑧指タッチ時の線色
- ⑨デジタイザペン利用時の線色

■ 画像回転

表示されている画像を右に90度回転します。

■ やり直し

直前の操作の取り消しを行います。

直前の1回の操作のみ取り消すことができます。

■ 線の太さ

線の太さを以下の中から指定します。

1/2/4/6/8/10/20/30 pixel

■ 指タッチ時の線色

指タッチの場合の線色を以下の中から指定します。

ブラック／ブルー／シアン／グレー／グリーン／レッド／マゼンタ／イエロー／
ホワイト

■ デジタイザペン利用時の線色

デジタイザペンの場合の線色を以下の中から指定します。

ブラック／ブルー／シアン／グレー／グリーン／レッド／マゼンタ／イエロー／
ホワイト

業務ブラウザ

業務ブラウザは、Android標準ブラウザとは別に、標準ブラウザの機能を制限できるブラウザです。

標準ブラウザとは異なり下記の制限ができます。

- ・ **表示項目の制限**

表示されているボタンやアドレスバーをユーザーが操作できなくします。

- ・ **ブラウジング対象ドメイン指定**

ブラウジング対象のホストを制限します。

- ・ **優先設定**

設定ファイルの設定値は、業務ブラウザ上の設定画面で設定した値より優先されません。

制限項目以外の動作は、Android標準ブラウザと同一です。

設定例：ブラウジング対象先を「casio.jp」に限定した場合

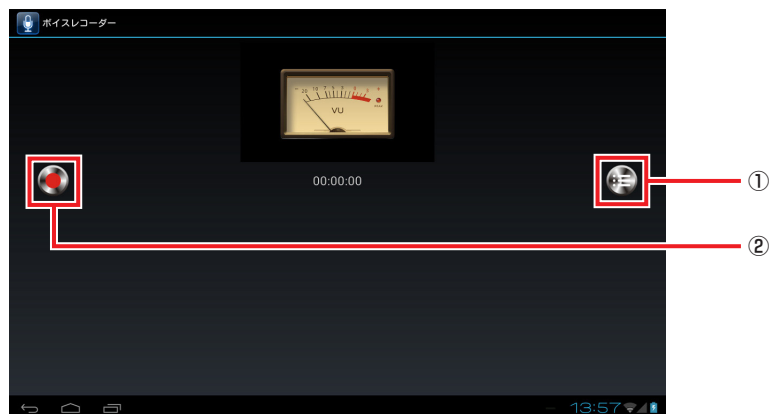
URLにcasio.jp以外(画面例：www.google.com)を入力しても警告のトーストが表示されてcasio.jp以外のサイトには移動しません。



ボイスレコーダー

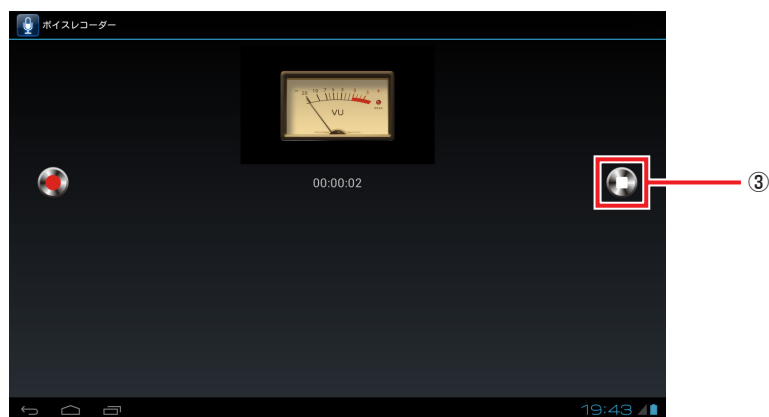
音声メモの録音／再生機能を提供します。

起動時画面



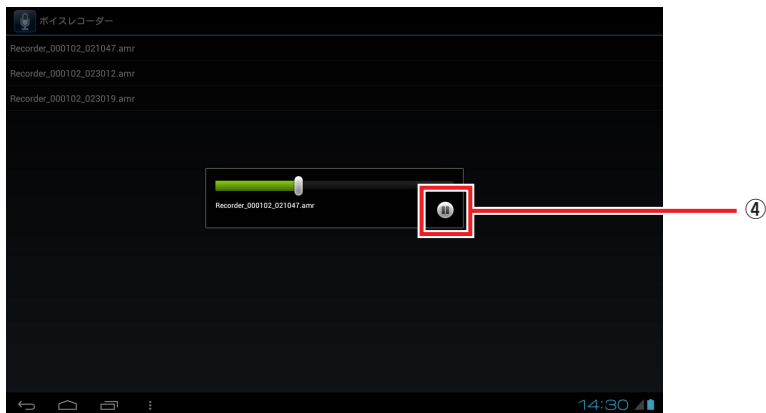
- ① 再生リスト表示
- ② 録音

録音中画面



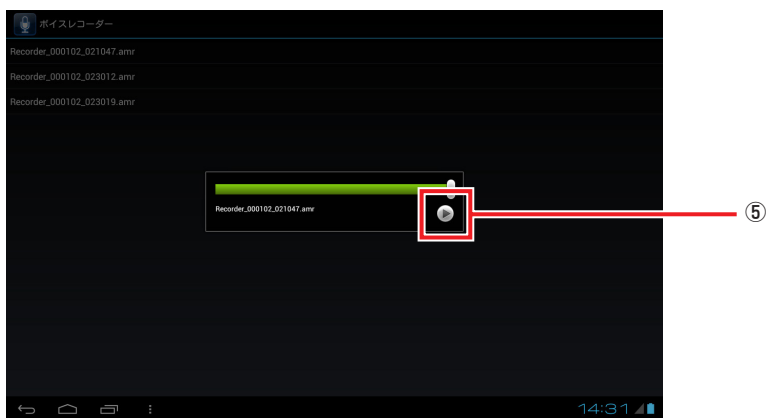
- ③ 停止

再生中画面



④ 一時停止

再生終了時画面



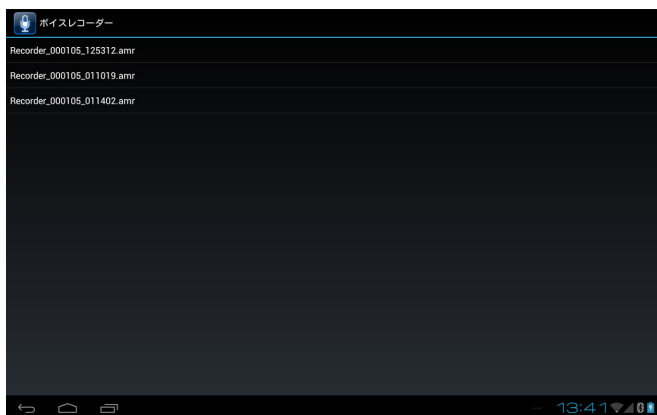
⑤ 再生

■ 再生リスト表示

これまでに録音したデータの一覧を表示します。

データファイルは「Recorder_YYMMDD_HHMMSS.amr」として保存されます。

録音中①再生リスト表示ボタンは③の停止ボタンに切り替わります。



■ 録音

②録音ボタンを押下した時点から、録音がスタートします。

録音を停止する場合は③の停止ボタンを押下します。

■ 再生


再生リストの一覧からファイルを選択すると、選択した音声ファイルが再生されます。

再生を一時停止する場合は④一時停止ボタンを押下します。

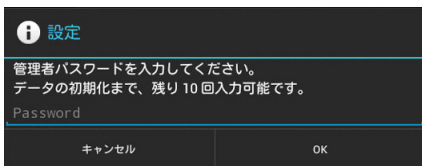
再生が終了すると④一時停止ボタンは⑤再生ボタンに切り替わります。

もう一度再生する場合は⑤再生ボタンを押下します。

ソフトウェア一覧

アイコン	ソフトウェア名称
	設定

管理者認証が有効な場合は、起動時に管理者パスワードを要求する下記の画面が表示されます。
管理者認証の設定方法については、「セキュリティ設定」(P.94)を参照してください。



管理者パスワードを入力後「OK」をクリックしてください。

システム設定権限が付与されたユーザーで既にログインを行っている場合は、管理者認証が有効な場合でも、認証画面は表示されません。

無線とネットワーク

Wi-Fi、Bluetooth、モバイルネットワーク、USB接続を使用したネットワークやデバイスへの接続を設定、管理できます。

また、タブレットと仮想プライベートネットワーク(VPN)間の接続を設定したり、タブレットのデータ通信を経由して他のデバイスやインターネットに接続したり、機内モードに切り替えてすべての無線通信をオフにしたりすることもできます。

項目	説明	
Wi-Fi	Wi-Fiの有効／無効を設定します。	
Bluetooth	Bluetoothの有効／無効を設定します。	
データ使用	データ通信の設定や使用量を確認します。	
その他	機内モード	機内モードの有効／無効を設定します。
	VPN	VPNの設定をします。
	テザリングとポータブルアクセスポイント	アクセスポイント・通信手段などテザリングの設定をします。
	NFC	NFCの有効／無効を設定します。
	Androidビーム	NFC対応端末間のデータ送受信の設定をします。
	Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directの有効／無効を設定します。
	Wi-Fi Direct (Peer2Peer)	ピアツーピア接続の設定をします。
モバイルネットワーク	モバイルネットワークの設定をします。	

端末

音やディスプレイの設定をしたり、ストレージ、電池、アプリケーションの状態を確認できます。

項目	説明	
音	音量	スピーカー・通知・アラームなどの音量の設定をします。
	デフォルトの通知音	デフォルトの通知音を設定します。
	バイブレーションと着信音	バイブレーションと着信音の有効／無効を設定します。
	タッチ操作音	タッチ操作音の有効／無効を設定します。
	画面ロックの音	画面ロックの音の有効／無効を設定します。
	タッチ操作バイブ	タッチ操作バイブの有効／無効を設定します。
ディスプレイ	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
	壁紙	壁紙を設定します。
	画面の自動回転	画面の自動回転の有効／無効を設定します。
	スリープ	スリープまでの時間を設定します。
	フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
ストレージ	ストレージの使用済み容量と空き容量を確認できます。	
電池	充電状態・電池使用時間を確認できます。	
バックアップ電池	バックアップ電池の残量を確認します。 バックアップ動作の対象(メモリ、時計)を選択することができます。	
アプリ	タブレットに搭載されているアプリケーションを確認できます。	

ユーザー設定

各種セキュリティの設定など利用者の用途や使用方法に関する設定を行います。

項目	説明	
アカウントと同期	アプリケーション間のアカウントの同期設定をします。	
位置情報サービス	Googleの位置情報サービス	Wi-Fi・モバイルネットワークのデータを使用した現在地の特定をアプリに許可するかどうかを設定します。
	GPS機能	GPSを使用した現在地の特定をアプリに許可するかどうかを設定します。
セキュリティ	画面のロック	画面ロック解除時の認証方式を設定します。
	所有者情報	ロック画面での所有者情報の表示内容を設定します。
	タブレットの暗号化	タブレット内のデータの暗号化を実行します。
	SIMカードロック設定	タブレット使用時のPIN入力 of 要／不要を設定します。
	パスワードを表示する	パスワード入力時にパスワードの各文字を短時間表示するかどうかを設定します。
	端末管理者	タブレットのデバイス管理者権限を付与したアプリのリストを表示します。
	提供元不明のアプリ	提供元不明アプリのインストールを許可するかどうかを設定します。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明を表示します。
	SDカードからインストール	SDカードから証明書をインストールします。
	認証ストレージの消去	証明書をすべて削除します。
言語と入力	言語	使用する言語を設定します。
	スペルチェッカー	スペルチェッカーの有効／無効を設定したり、スペル辞書を選択します。
	ユーザ辞書	ユーザ辞書を登録します。
	キーボードと入力方法	キーボードと文字の入力方法を設定します。
	テキスト読み上げの出力	使用する音声エンジンを選択したり、テキスト読み上げの速度を設定します。
	ポインタの速度	マウスポインタの速度を設定します。
	Pointer method	使用する入力方法(指・ペン／指のみ／ペンのみ)を指定します。
バックアップとリセット	データの初期化	タブレット内の全データを消去します。

システム

日付と時刻の設定や開発者向けの設定を行います。

項目		説明
日付と時刻	日付と時刻の自動設定	日付と時刻の自動設定を利用するかどうかを設定します。
	タイムゾーンを自動設定	タイムゾーンの自動設定を利用するかどうかを設定します。
	日付設定	日付の設定をします。
	時刻設定	時刻の設定をします。
	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。
	24時間表示	24時間表示をするかどうかを設定します。
	日付形式	日付形式を設定します。
ユーザー補助	大きい文字サイズ	大きい文字サイズを利用するかどうかを設定します。
	画面の自動回転	画面の自動回転を利用するかどうかを設定します。
	パスワードの音声出力	パスワードの音声出力を利用するかどうかを設定します。
	押し続ける時間	長押し時間の設定をします。
	ウェブスクリプトをインストール	ウェブスクリプトのインストールを許可するかどうかを設定します。
開発者向けオプション	USBデバッグ	USBデバッグを利用するかどうかを設定します。
	開発端末ID	端末IDを表示します。
	スリープモードにしない	スリープモードの有効／無効を設定します。
	擬似ロケーションを許可	擬似ロケーションを許可するかどうかを設定します。
	HDCPチェック	HDCP(デジタル著作権管理技術の1つ)チェック動作を設定します。
	PCバックアップパスワード	フルバックアップのパスワードを設定します。
	厳格モードを有効にする	処理時間が長い場合の画面を点滅させて通知するかどうかを設定をします。
	ポインタの位置	タップイベント情報(座標)を表示するかどうかを設定します。
	タップを表示	タップ位置をマーカー表示するかどうかを設定します。
	画面の更新を表示	画面内の表示更新領域の点滅表示をするかどうかを設定します。
	CPU使用状況を表示	現在のCPU使用率を表示するかどうかを設定します。

項目		説明
開発者向け オプション	GPUレンダリングを使用	2Dハードウェアアクセラレーションを使用するかどうかを設定します。
	ウィンドウアニメスケール	ウィンドウのアニメーション速度を調整します。
	トランジションアニメスケール	コンポーネントの切り替え時のアニメーション速度を調整します。
	アクティビティを保持しない	即座にアプリケーションを終了するかどうかを設定します。
	バックグラウンドプロセスの上限	バックグラウンドプロセスの上限数を設定します。
	すべてのANRを表示	バックグラウンドアプリが応答しない場合に通知するかどうかを設定します。
タブレット 情報	端末の状態	端末の状態(電池・ネットワークなど)を表示します。
	法的情報	各種ライセンスを表示します。
	モデル番号	モデル番号を表示します。
	Androidバージョン	Androidのバージョンを表示します。
	ベースバンドバージョン	ベースバンドバージョンを表示します。
	カーネルバージョン	カーネルバージョンを表示します。
	ビルド番号	ビルド番号を表示します。

■ 運用支援ツール

ソフトウェア一覧

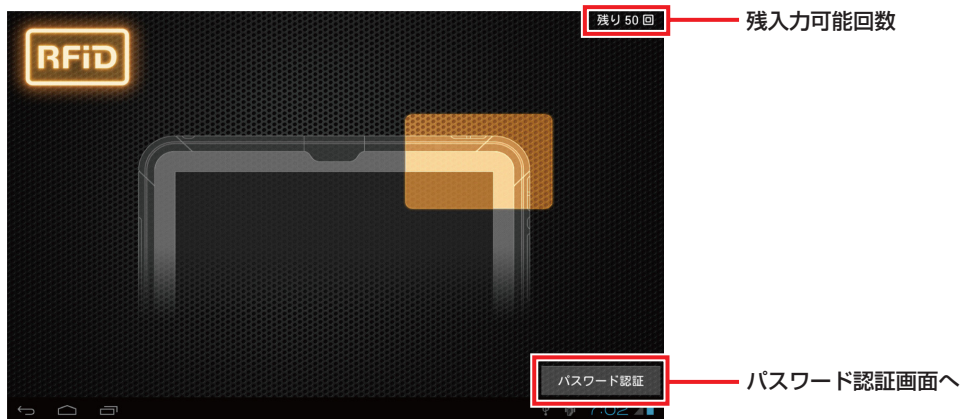
アイコン	ソフトウェア名称
	業務メニュー
	ログイン認証設定
	業務ユーザー編集
	セキュリティ設定
	2X Client
	盗難防止
	Tapnow

業務メニュー

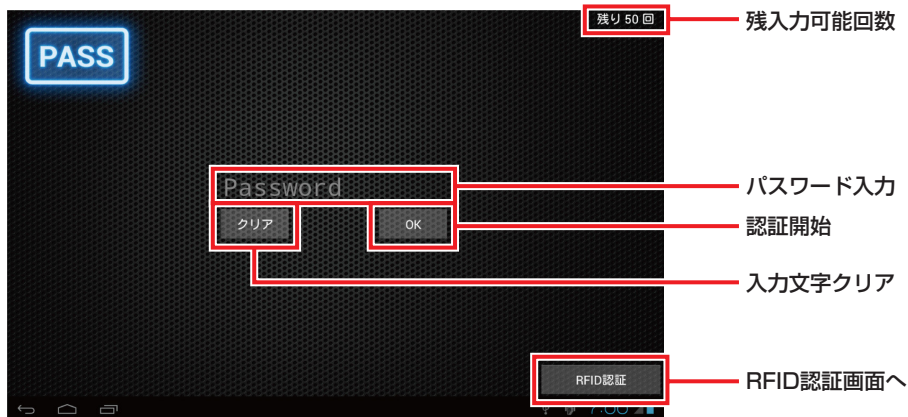
NFCまたはパスワードを利用して利用者を特定するとともに、最大5階層のツリー構造を表現可能なメニューシステムを提供します。

本システムはホームアプリケーションとして動作し、ホームキーを押下することでいつでも表示させることが可能です。

ユーザー認証画面(RFID認証時)



ユーザー認証画面(パスワード認証時)



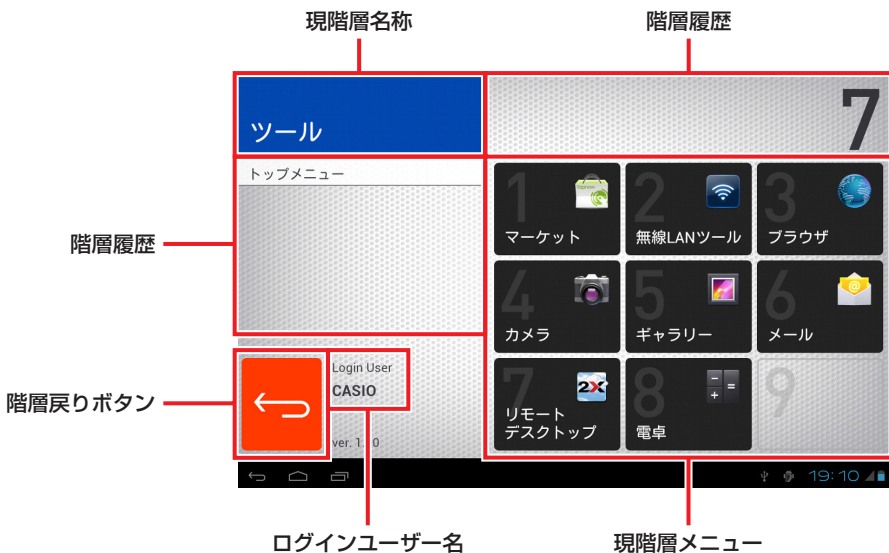
※工場出荷時は認証方式は「認証無し」に設定されています。認証を行う場合はログイン認証設定ツールで認証方式を選択してください。

※工場出荷時は以下のユーザーが登録されています。

ユーザー名：CASIO

パスワード：casio

メニュー画面



ログイン認証設定

ユーザー認証画面の動作を設定します。



項目	説明
①認証方式	RFID > PASSWORD：RFID認証画面を最初に表示します。 PASSWORD > RFID：パスワード認証画面を最初に表示します。 PASSWORD ONLY：パスワード認証画面のみを表示します。 認証無し：ログイン認証を行いません。
②誤認証許可回数	連続して失敗することの出来る回数を設定します。 0～99回まで設定可能です。0回を設定した場合は無制限となり、認証画面上部の残入力回数は非表示となります。 連続して誤認証許可回数の認証失敗をした場合、工場出荷状態に戻ります。
③認証通知	認証成功時／失敗時に音を鳴らします。
④RFIDデバイス設定	読み込むRFIDデバイス種を設定します。

※設定変更後は、電源OFF(シャットダウン)してください。

業務ユーザー編集

ユーザーの編集を行います。

最大10,000件のユーザーアカウントを管理可能とし、システム設定権限が付与されているユーザーのみアカウントの新規追加／システム設定権限の付与／編集／削除が可能です。

アカウント情報

ID	名前	操作
00001	testuser	編集 削除
00002	testuser	編集 削除
00003	testuser	編集 削除
00004	testuser	編集 削除
00005	testuser	編集 削除
00006	testuser	編集 削除

アカウント新規追加

編集内容確定

ツール終了

セキュリティ設定

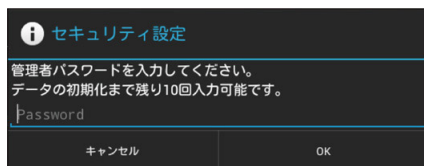
管理者用のパスワードを設定します。

管理者用パスワードはセキュアな機能を利用する場合の認証に利用します。

また認証に失敗した場合に、ローカルデータを消去するかどうかの設定も行えます。



管理者認証が有効な場合は、起動時に管理者パスワードを要求する下記の画面が表示されます。



管理者パスワードを入力後「OK」をクリックしてください。

システム設定権限が付与されたユーザーで既にログインを行っている場合は、管理者認証が有効な場合でも、認証画面は表示されません。

2X Client

2X Software社の2X Clientを使用してMicrosoft Windowsのリモートデスクトップサービスに接続することができます。

詳細は、2X Software社ホームページ<http://www.2x.com/>(製品ページ：<http://www.2x.com/ja/rdp-client/android/>)のマニュアルを参照してください。



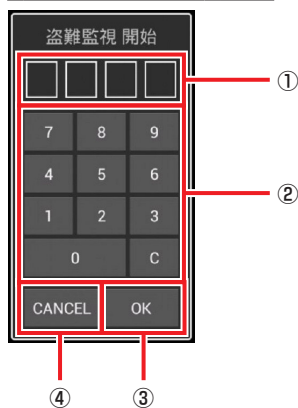
盗難防止

充電台(クレードル、置くだけ充電器)から外すと盗難と判断して、大音量警告音を鳴らすことができます。

■ 盗難防止機能有効(ロック)

盗難防止機能を利用するには、2回暗証番号を入力します。

4桁の暗証番号入力(1回目)



- ① 入力した暗証番号の表示
- ② 入力用のキー
- ③ 入力した暗証番号を確定
- ④ 本アプリ終了(盗難防止は設定されません)

4桁の暗証番号入力(2回目)

同様の再確認画面が表示されるので、再度暗証番号を入力します。



- ⑤ 盗難防止機能を有効

■ 盗難防止機能無効(アンロック)

盗難防止機能を無効にするには、盗難防止機能が有効になっている時に、本アプリを起動し、入力した4桁の暗証番号を入力します。

盗難監視 停止			
7	8	9	
4	5	6	
1	2	3	
0	C		
CANCEL		OK	

■ 盗難検出時(充電台から外された時)

上記画面が自動で表示されるので、入力した4桁の暗証番号を入力します。

Tapnow

■ マーケット

本タブレット製品のホーム画面には、マーケットホームアプリケーションとしてTapnow Market(以下、本マーケットと言います)がインストールされています。

本マーケットを起動すると下記のような【ホーム】画面が表示され、画面下のメニュー欄に、アプリ、電子書籍、ゲーム、動画、壁紙、着メロ、デコメなど現在、提供されている各メニューボタンが表れます。



【ホーム】画面をスクロールさせ、最下画面に下記のような項目選択リストが表示されます。

● Tapnowについて

- ・ Tapnow Marketの使い方
- ・ プライバシーポリシー
- ・ 利用規約
- ・ 会社概要
- ・ お問い合わせ

Tapnowは、会社概要に表記されているACCESSPORT株式会社が運営するAndroid向けコンテンツマーケットです。ご利用になる前に、本プライバシーポリシー及び本利用規約を閲覧頂き、「Tapnowソフトウェア利用規約」と「Tapnow Market利用規約」とともに同意の上、ご利用ください。

また、「Tapnow Marketの使い方」を参照し、マーケットをご利用頂き、マーケットの運用関連についてのお問い合わせは、「お問い合わせメニュー」の表示画面に従ってお問い合わせください。

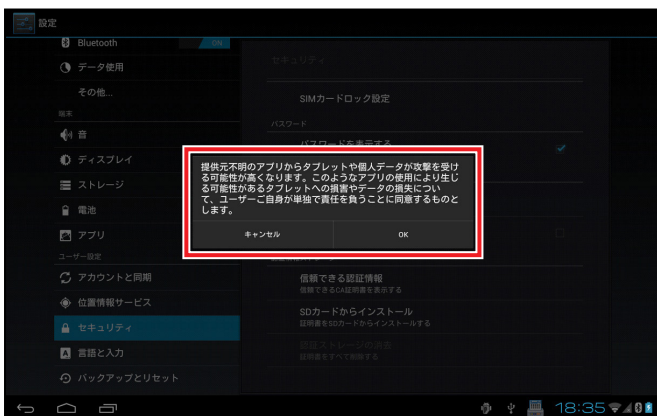
本マーケットに掲載されているアプリ及び各種コンテンツは、着メロなどスマートフォン専用コンテンツなど一部を除き、本タブレット製品にダウンロードしてご利用頂けますが、カシオ計算機が本タブレット製品での動作保証や利用にともなう損害賠償に対応するものではありませんのでご承諾の上、ご利用願います。

Tapnowからアプリ及び各種コンテンツをダウンロードするには、必ず事前に、本タブレット製品のホーム画面にある【設定】ツールを起動し、「セキュリティ」メニューを選択すると次の画面が表示されます。

ここで、画面右側の「提供元不明のアプリ」にチェックが付いているか確認してください。



「提供元不明のアプリ」にチェックが付いていない場合は、その欄をタップすると次の画面が表示されるため【OK】を選択することでチェックが付きます。



(注) 「提供元不明アプリ」にチェックが付いていないとTapnowからアプリ及び各種コンテンツをダウンロードすることが出来ませんので注意してください。

「おすすめページ」では、仕事に役立つソフトウェアを紹介しています。

●おすすめ

メニュー欄の【アプリ】ボタンを押下すると、下記のような「アプリストア」のトップ画面が表示されます。本マーケットの「アプリストア」は、画面上部の「キーワードを入れて検索」のアプリ選択以外に、【ランキング】、【カテゴリ】、【おすすめ】によるアプリ選択の方法があります。



「アプリストア」画面の【おすすめ】ボタンを押下すると、下記のような「おすすめ」画面が表示されます。

但し、他社製Android端末やPCなど本タブレット製品のホーム画面【マーケット】以外のマーケットアプリからご利用頂いた場合は、マーケット運営会社で別途、用意されている「おすすめ」ページが表示されますので注意してください。







おすすめアプリのソフト機能や仕様、使用方法などのお問い合わせは、「Tapnowソフトウェア利用規約」と同様に、ソフトウェア作成者に直接お問い合わせください。

尚、本マーケット及び「おすすめ」の操作画面デザインや掲載されているアプリケーションやコンテンツの内容は、断りなく変更する場合があります。

(注) 「Tapnow」、「Tapnow Market」はACCESSSPORT株式会社が提供するアプリケーション及びサービスの名称です。

■ システム運用ツール

ソフトウェア一覧

アイコン	ソフトウェア名称
	ファイルマネージャ
	WLANツール
	Backup/Restore
	本体間コピー

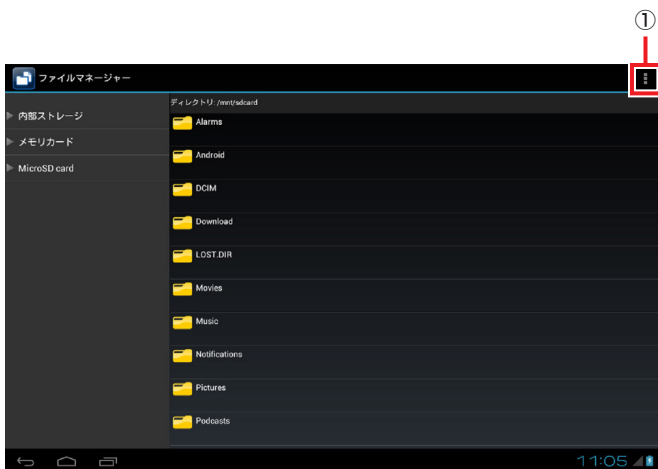
ファイルマネージャ

ファイル管理機能を提供します。

画面左側でストレージの選択ができ、画面右側ではディレクトリ内一覧が表示されます。

ディレクトリ内一覧でフォルダを選択すると、選択フォルダの一覧となります。

ディレクトリ内一覧でファイルを選択すると、ファイル種別に関連づけられた閲覧アプリ等が起動されます。



① 設定メニュー

■ 設定メニュー

設定メニューでは、以下の設定を行います。

新規／ソーティング／ディスプレイモード／編集／検索／プロパティ

ディレクトリ内一覧の項目を長押しすると、編集操作メニューが表示されます。



WLANツール

ユーザー動作環境において、無線LANの電波状態の確認ができます。



- ① 設定メニュー
- ② 電波強度履歴のログファイル出力
- ③ 自端末のIPアドレス解放／更新
- ④ 指定端末に対するping試行

■ 設定メニュー

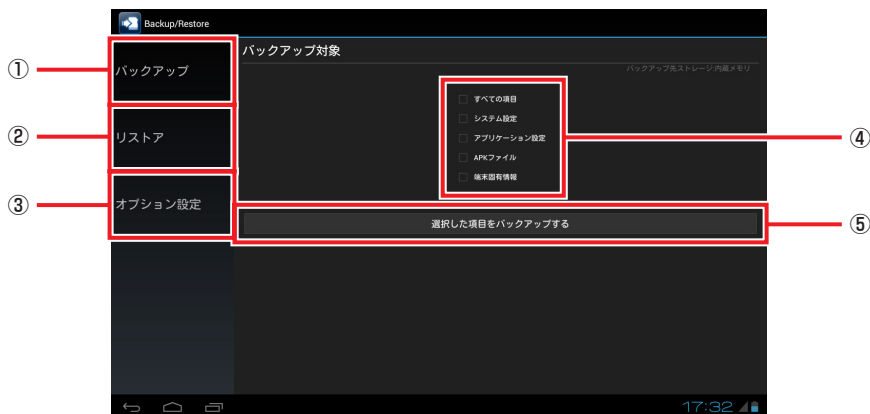
設定メニューでは、以下の設定を行います。

- ① Ping設定
- ② 環境設定

バックアップツール

端末データのバックアップ、リストアを行います。

バックアップ画面



- ① バックアップメニュー
- ② リストアメニュー
- ③ オプション設定メニュー
- ④ バックアップ対象選択チェックボックス
- ⑤ バックアップの開始

■ バックアップメニュー

バックアップ画面へ遷移します。

■ リストアメニュー

リストア画面へ遷移します。

■ オプション設定メニュー

オプション設定画面へ遷移します。

■ バックアップ対象選択チェックボックス

データをバックアップする対象を選択します。

■ バックアップの開始

④で選択したバックアップ対象のデータをバックアップします。

リストア画面



① リストア対象選択チェックボックス

② リストアの開始

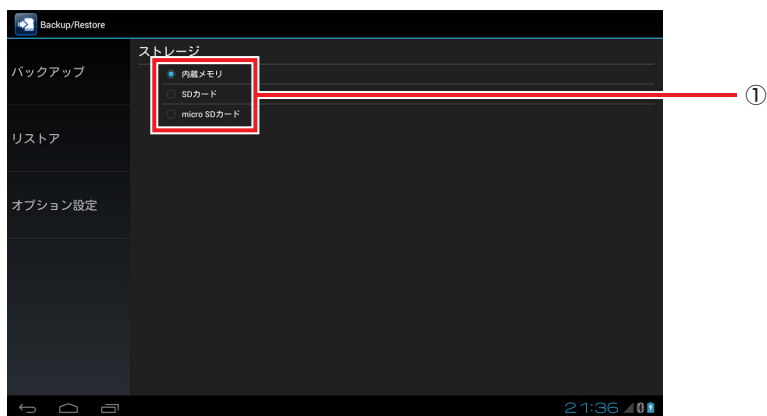
■ リストア対象選択チェックボックス

データをリストアする対象を選択します。

■ リストアの開始

「オプション設定」で設定された保存先にあるデータをリストアします。

オプション設定画面



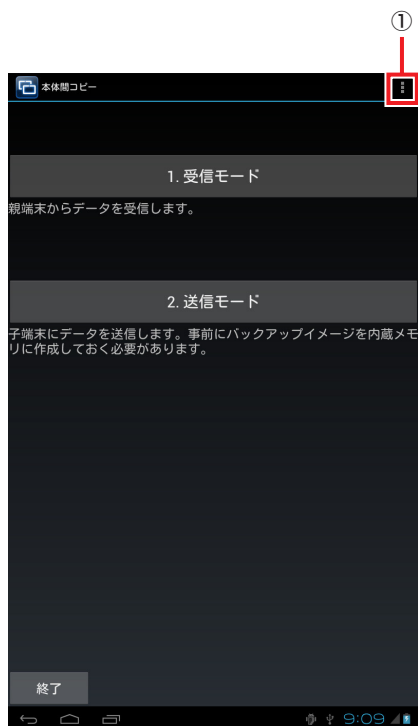
① データ保存先ラジオボタン

■ データ保存先ラジオボタン

バックアップ、リストアデータの保存先を選択します。

本体間コピー

親端末から子端末に対して、バックアップデータを転送後リストアを行うことで、親端末の複製を効率的に作成できます。



① 設定メニュー



■ 設定メニュー

設定メニューでは、以下の設定を行います。

ネットワークポート番号

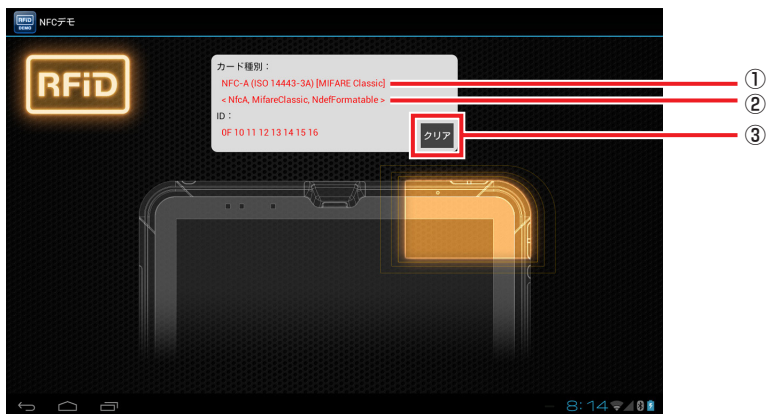
■ デモツール

ソフトウェア一覧

アイコン	ソフトウェア名称
 An icon for the RFID demo software, featuring a blue square with rounded corners. Inside the square, the text "RFID" is written in white above the text "DEMO" in white.	NFCデモ
 An icon for the QR code scanner software, featuring a black square with rounded corners. Inside the square, there is a white barcode with a red horizontal line across the middle.	QRコードスキャナー

NFCデモ

スキャンしたNFCのカード種別とIDを確認できます。



- ① カード種別
- ② Android SDKから取得した列挙情報
- ③ カード種別、ID表示のクリア

■ カード種別

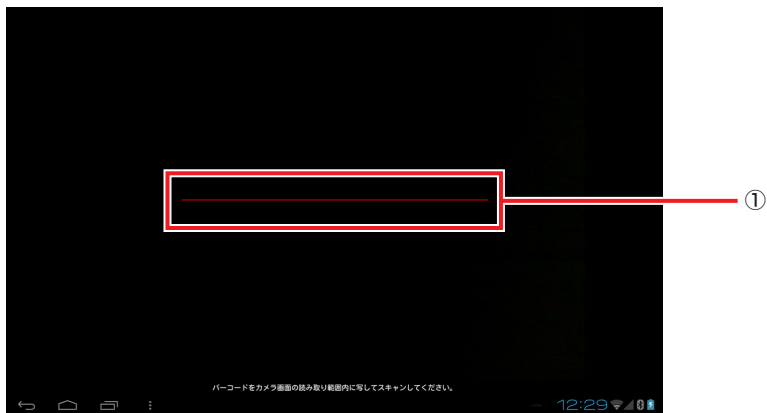
前述②の情報から、下記の何れかを表示します。

表示内容
NFC-A (ISO 14443-3A) [MIFARE Classic]
NFC-A (ISO 14443-3A) [MIFARE Ultralight]
NFC-A (ISO 14443-3A)
NFC-B (ISO 14443-3B)
NFC-F (JIS 6319-4) [FeliCa]
TAG (ISO 15693)

QRコードスキャナー

バーコードの読み取りをします。

バーコード読み取り画面



① バーコードプレビュー領域

■ バーコードプレビュー領域

この領域に読み取りたいバーコードの位置を合わせます。

バーコードを読み取ると、「ピッ」という音が鳴り、次ページのバーコード情報表示画面に推移します。

バーコード情報表示画面



① バーコード情報表示

■ バーコード情報表示

読み取ったバーコードの画像とそのバーコードの情報を表示します。

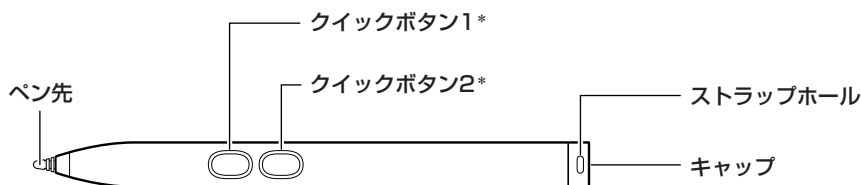
第 4 章

オプション（別売品）

■ デジタイザペンの取り扱い

別売のデジタイザペンで本機のタッチパネルを操作することができます。

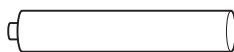
各部の名称



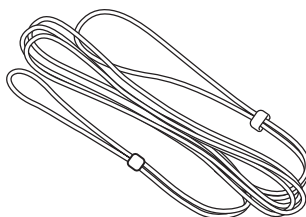
*クイックボタン1、2の機能は、アプリケーションの仕様により異なります。

付属品

単6形乾電池

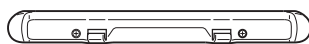


ストラップ



ペンのストラップホールに取り付けます。

ペンホルダー



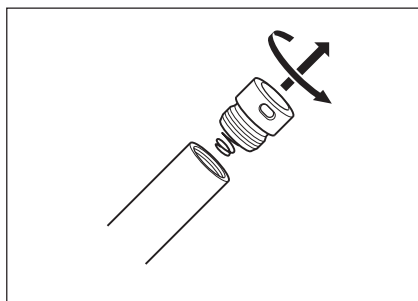
本体裏面上部の取り付け部 (P.26、27参照) にネジで固定します。画面カバー (P.121参照) と同時に取り付けることはできません。

ペン先(交換用)

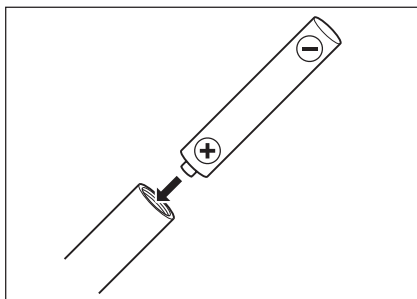


乾電池の装着のしかた

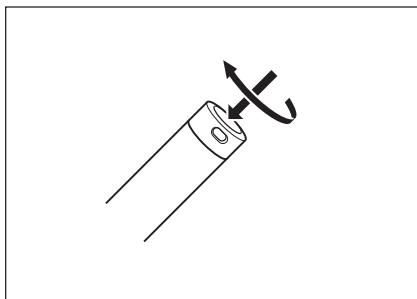
- 1 キャップを反時計方向に回して取り外します。



- 2 プラス極がペン先に向くように乾電池を入れます。

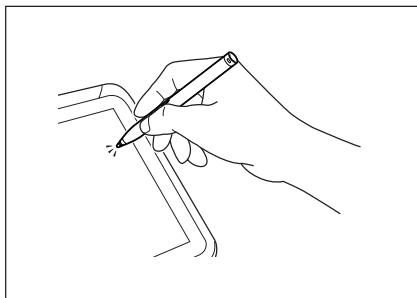


- 3 キャップを時計方向に回して取り付けます。

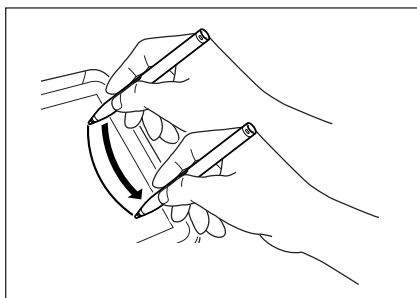


操作方法

タップ：ペン先でタッチパネルに軽く触れます。



文字や線を描く：ペン先をタッチパネルに触れたまま軽く滑らせて文字や線を描きます。



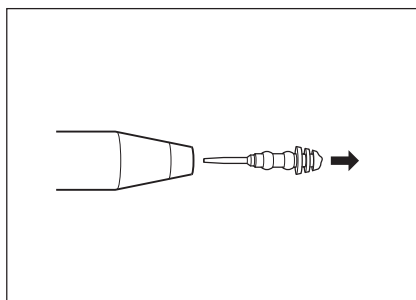
使用上のご注意

- デジタイザペンでタッチパネルを強く叩かないでください。
- 専用のペン以外では操作できません。

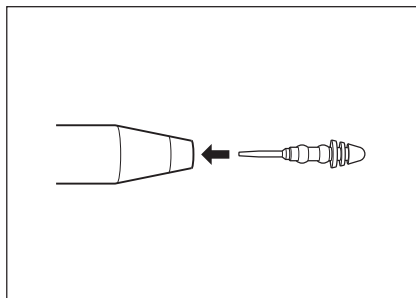
ペン先の交換のしかた

ペン先は使用年月とともに磨耗します。次の手順で交換してください。

- 1 ペンの先を持って軽く引っ張り、ペン先を抜き取ります。



- 2 新しいペン先を差し込みます。



メモ

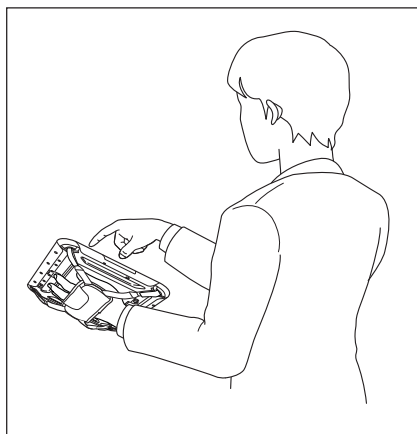
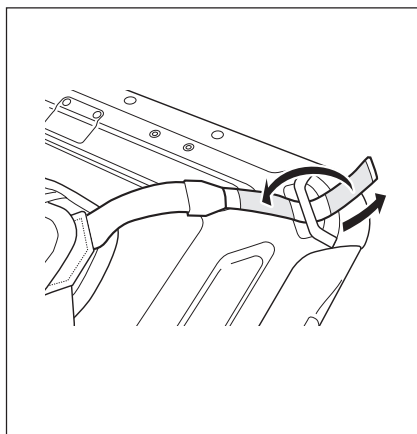
- ペン先のみ購入することができます。
購入については「情報機器コールセンター」にお問い合わせください。

■ ハンドベルトの取り扱い

別売のハンドベルトを本機に取り付けることができます。
ネクストラップも取り付ける場合は、ネクストラップを先に取り付けてください。
(P.120参照)

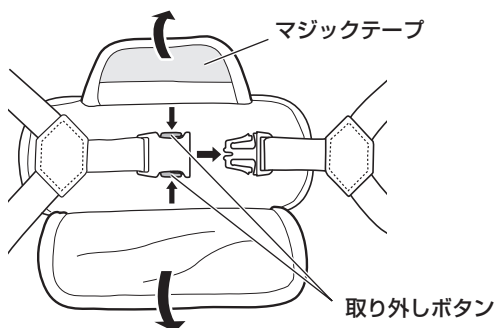
取り付け

- 1 ハンドベルトの4本の先端を、本体裏面四隅にある取り付け部の穴にそれぞれ通し、折り返して適切な長さになるよう調整してマジックテープで固定します。



使用上のご注意

- 無理に引っ張るとハンドベルトが損傷する原因となります。
- 充電電池パックカバーを開ける際は、ハンドベルトを分離させてから行ってください。

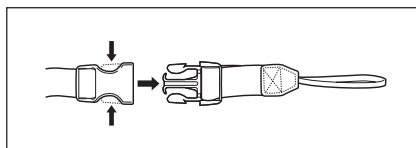


■ ネックストラップの取り付けかた

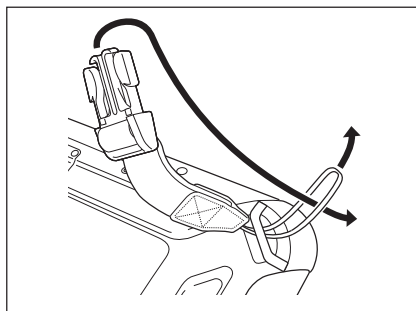
本機は、移動するとき落下防止用として、別売のネックストラップが使用できます。ストラップホールは4ヶ所ありますので使い勝手の良い2ヶ所を使用してください。ハンドベルトも取り付ける場合(P.119参照)は、ネックストラップを先に取り付けてください。

ネックストラップは次の手順で取り付けてください。

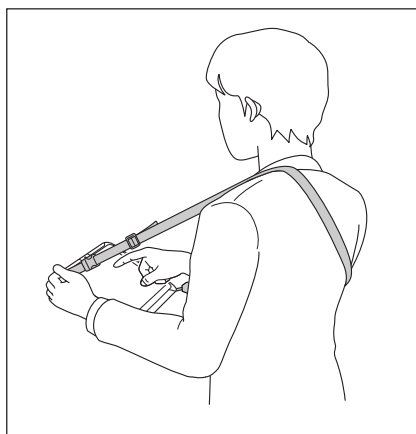
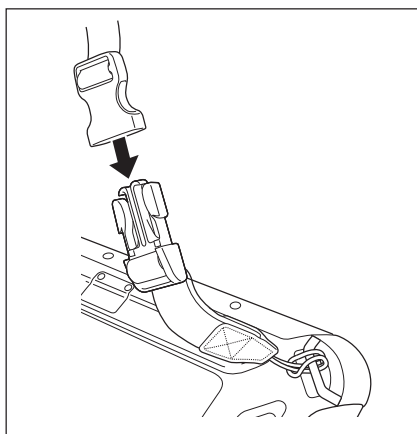
- 1** ネックストラップの取り外しボタンを押して両端の先端部を分離させます。



- 2** 先端部の細いひもの輪の部分本体裏面隅にあるストラップホールに通し、先端部を輪に通します。



- 3** ネックストラップ本体の両端をそれぞれ先端部に差し込みます。必要に応じて長さを調整してください。



■ 画面カバーの取り扱い

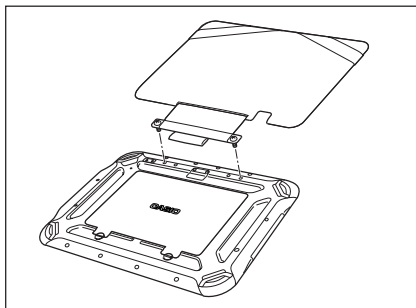
本機にはディスプレイの保護用に別売の画面カバーを取り付けることができます。

本体使用時には、スタンドとして使用することもできます。

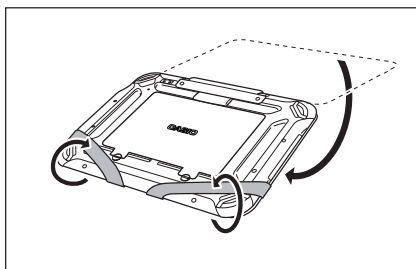
デジタイザペンのペンホルダー(P.116参照)を取り付けている場合は、取り外してください。デジタイザペンは、画面カバーのペンホルダー部分に収納することができます。

取り付け

- 1 本体裏面上部の取り付け部(P.26、27参照)に、画面カバーに取り付けられている2本のネジで固定します。

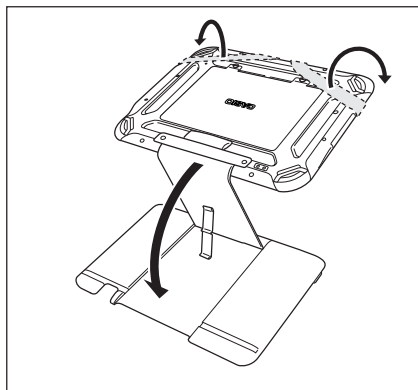


- 2 カバーを閉じてディスプレイに密着させ、ゴムバンドを本体裏面へ回して固定します。

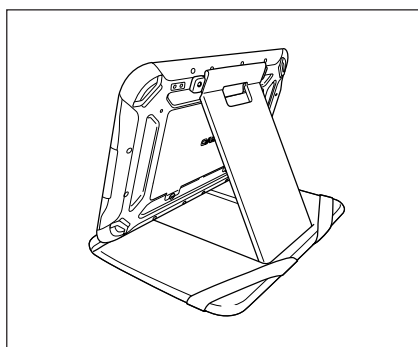
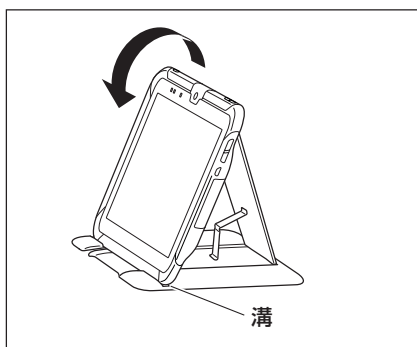


スタンドとしての使いかた

- 1 ゴムバンドを本体から外し、カバーを開いて机の上などの水平な場所に置きます。



- 2 本体を前方に回転させて、底面をカバーの溝に入れ固定します。



使用上のご注意

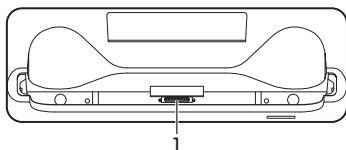
- ・ネジを画面カバーから取り外すことはできません。
- ・画面カバーは合成皮革製品ですので、水分が付着したらすぐに乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。
また、熱に弱いので、火に近い場所などでのご使用は避けてください。
- ・ゴムバンドを本体から外した状態で画面カバーだけを持たないでください。画面カバーが破損する原因となります。
- ・クレードルに装着するときは、確実に装着するために画面カバーを少し持ち上げてください。

LAN/USBクレードル(HA-M62IO)の取り扱い

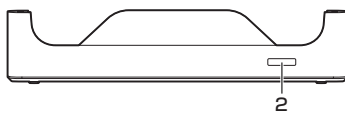
別売のLAN/USBクレードル(HA-M62IO)は、V-T500とパソコンなどとの間でUSBインターフェースやLANインターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、V-T500を接続して充電電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

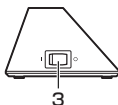
上面



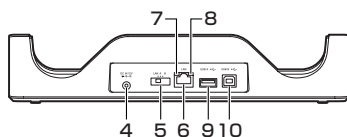
正面



右側面



背面



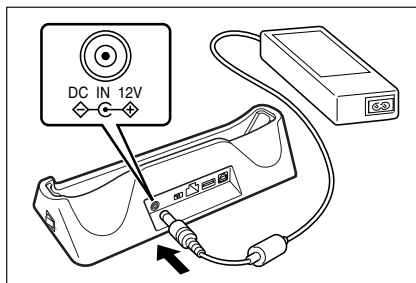
1	通信／給電端子	V-T500へ電源を供給したり通信を行う端子です。
2	電源表示用LED	消灯：電源OFF。 赤色点灯：電源ON、V-T500が装着されていません。 緑色点灯：電源ON、V-T500が正常に装着されています。
3	電源スイッチ	電源をON/OFFします。
4	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
5	切替スイッチ	USBホスト、USBクライアント、およびLAN切替えを行うスイッチです。
6	LAN 用ポート	LAN ケーブルを使ってパソコンやHUBへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップデート)を行います。 V-T500に専用ドライバをインストールする必要があります。
7	LAN 通信状態表示用LED	LANの稼働状態を表示します。 消灯：通信していません。 緑色点滅：通信中です。
8	LAN 接続状態表示用LED	LANの接続状態を表示します。 消灯：LANケーブルが正しく接続されていません。 緑色点灯：LAN ケーブルが正しく接続されています。
9	USBホスト用ポート	対応するUSB周辺機器との接続に使用します。
10	USBクライアント用ポート	USBケーブルを使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCIに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。

LAN/USBクレードルの電源の取り付けかたと接続

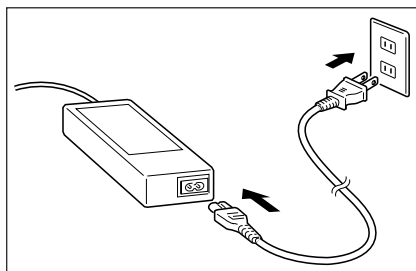
LAN/USBクレードルの電源は、別売のACアダプタ(AD-S36 120A)を使用してください。V-T500とデータ通信する前に必ずLAN/USBクレードルとACアダプタを接続してください。

V-T500への電源はLAN/USBクレードルから供給されます。

- 1 LAN/USBクレードルの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

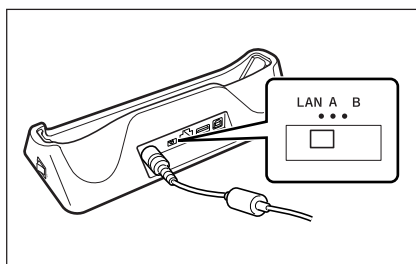


- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 LAN/USBクレードルの背面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

LAN用ポートを使用する場合はLAN側に、USBクライアントを使用する場合はB側に、USBホストを使用する場合はA側にセットしてください。

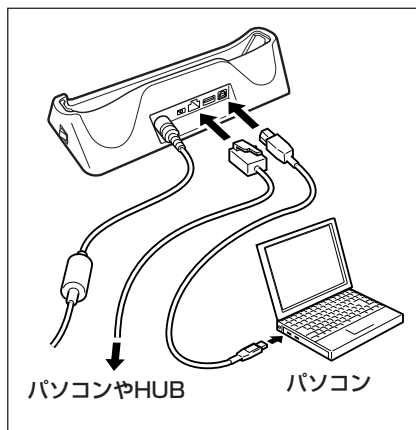


- 4** 使用する前にポートに付いているキャップを取り外してください。

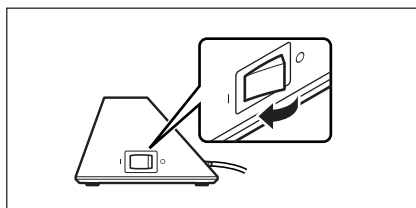
LANを使用するときは、LAN用ポートにLANケーブルを接続し、パソコンやHUBへ接続します

USBケーブルをLAN/USBクレードル背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。

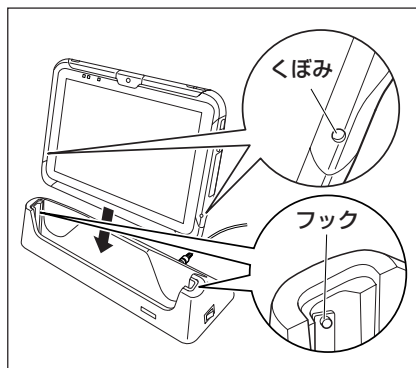


- 5** LAN/USBクレードルの右側面にある電源スイッチをONにします。LAN/USBクレードル前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。



- 6** V-T500の底面を下にしてLAN/USBクレードルに差し込み、LAN/USBクレードルの固定用フックにV-T500の固定部(くぼみ)を合わせて装着します。

V-T500が正しく装着されるとLAN/USBクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。



■ V-T500の充電LEDの表示

オレンジ色点灯：充電中(電池残量が6%以上)

赤色点灯： 電池残量が0～5% (5%以下だと本体は起動しません。)
充電パットの異常

赤色点滅： 充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

- * 常温で30分以上経過しACアダプタを挿し直しても赤色点灯または消灯が続く場合は異常です。ただちに使用をやめてコールセンターにお問い合わせください。
- * 電池残量が5%以下になった状態でACアダプタが正しく接続されると、約0.5秒消灯してから赤色点灯します。

■ 使用上のご注意

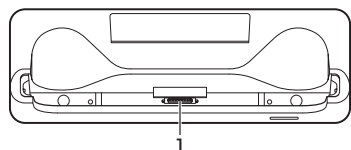
- ・ LAN、USBクライアント、およびUSBホストのスイッチを切り替えるときは、必ずV-T500をLAN/USBクレードルから外してください。
- ・ 通信／給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、通信／給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- ・ LAN/USBクレードルの通信／給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- ・ LAN、USBクライアント、およびUSBホストでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。
通信が切れる原因となります。
- ・ V-T500を装着する際は、LAN/USBクレードルの固定用フックにしっかりと装着し、LAN/USBクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。
正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- ・ LAN、USBクライアント、およびUSBホストを同時に使用することはできません。
- ・ LAN/USBクレードルに本体を装着している間は、本体のUSBminiBポートは使用できません。
- ・ 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。

■ 置くだけ充電器(HA-M30CHG)の取り扱い

別売の置くだけ充電器(HA-M30CHG)は、V-T500を接続して、充電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

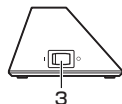
上面



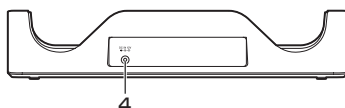
正面



右側面



背面

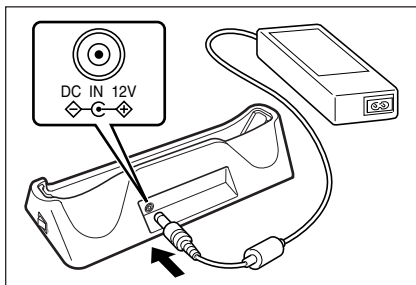


1	給電端子	V-T500へ電源を供給する端子です。
2	電源表示用LED	消灯： 電源OFF。 赤色点灯： 電源ON、V-T500が装着されていません。 緑色点灯： 電源ON、V-T500が正常に装着されています。
3	電源スイッチ	電源をON/OFFします。
4	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。

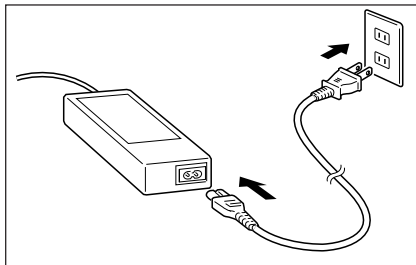
置くだけ充電器の電源の取り付けかたと接続

置くだけ充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S36120A)を使用してください。

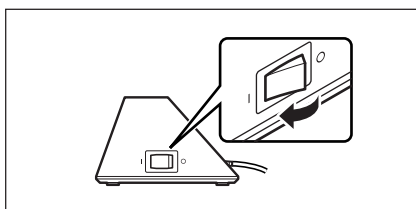
- 1** 置くだけ充電器の背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。



- 2** 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

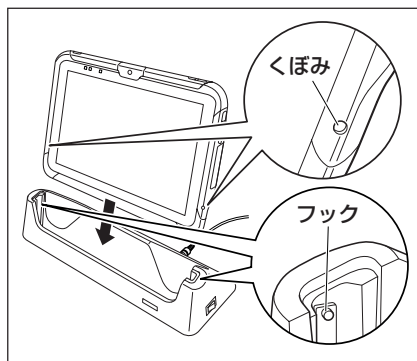


- 3** 置くだけ充電器の右側面にある電源スイッチをONにします。置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。



- 4** V-T500の底面を下にして置くだけ充電器に差し込み、置くだけ充電器の固定用フックにV-T500の固定部(くぼみ)を合わせて装着します。

V-T500が正しく装着されると置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。



■ V-T500の充電LEDの表示

オレンジ色点灯： 充電中(電池残量が6%以上)

赤色点灯： 電池残量が0~5% (5%以下だと本体は起動しません。)
 充電電池パックの異常

赤色点滅： 充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

- * 常温で30分以上経過しACアダプタを挿し直しても赤色点灯または消灯が続く場合は異常です。ただちに使用をやめてコールセンターにお問い合わせください。
- * 電池残量が5%以下になった状態でACアダプタが正しく接続されると、約0.5秒消灯してから赤色点灯します。

■ 使用上のご注意

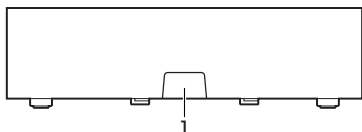
- 置くだけ充電器の給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- V-T500を装着する際は、置くだけ充電器の固定用フックにしっかりと装着し、置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電が行えません。

デュアル充電器(HA-M32DCHG)の取り扱い

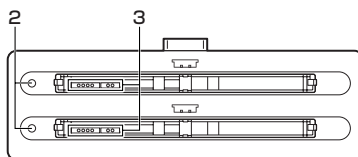
別売のデュアル充電器(HA-M32DCHG)は、充電電池パック2個を同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

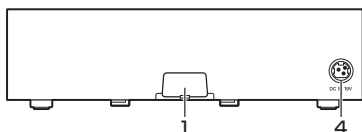
正面



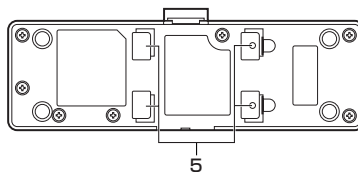
上面



背面

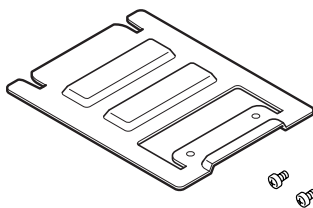


裏面



付属品

連結用アタッチメント
連結用ネジ2本

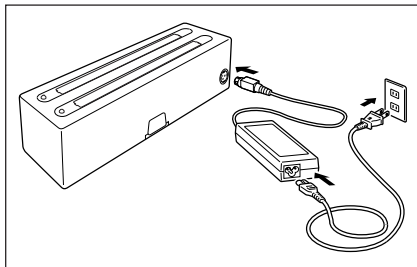


1	デュアル充電器連結用端子	デュアル充電器どうしの連結に使います。
2	充電表示用LED	充電電池パックの充電状態を表します。 消灯： 充電しないとき オレンジ色点灯： 充電中 赤色点灯： 充電電池パックの異常または充電可能温度(約0～40℃)でないため待機中(充電可能温度になると充電開始) 緑色点灯： 充電完了
3	給電端子	充電電池との接続端子です。
4	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
5	連結用アタッチメント取り付け部	デュアル充電器を2台以上連結する際に、連結用アタッチメントを取り付けます。

充電のしかた

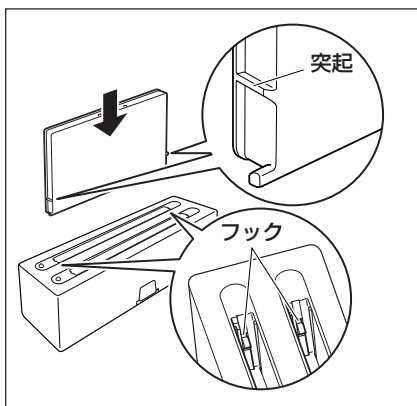
デュアル充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S90190C)を使用してください。

- 1 デュアル充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを差し込みます。コネクタの彫刻面を上にしてカチッと音がするまで確実に差し込んでください。



- 2 別売の専用ACアダプタのプラグをコンセントに接続します。

- 3 充電電池パックの向きに注意して、デュアル充電器の固定用フックに電池の固定部(突起)が引っかかるまで差し込みます。充電表示用LEDが、オレンジ色に点灯して充電が開始されます



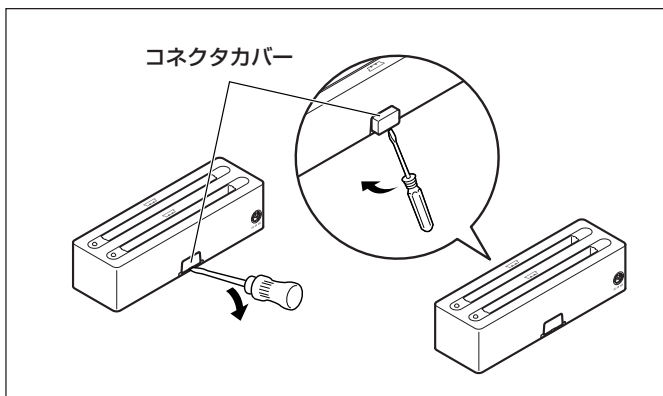
■ 充電表示用LEDの表示

- | | |
|----------|---|
| 消灯： | 充電しないとき |
| オレンジ色点灯： | 充電中 |
| 赤色点灯： | 充電電池パックの異常または充電可能温度(約0~40℃)でないため待機中(充電可能温度になると充電開始) |
| 緑色点灯： | 充電完了 |

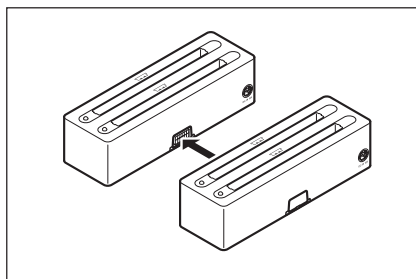
2台以上の連結

デュアル充電器を3台まで連結して、1つのACアダプタで使用することができます。

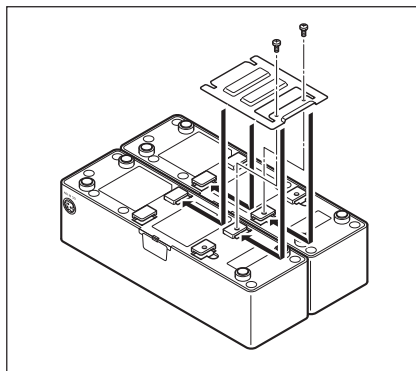
- 1 連結する側のコネクタカバーを取り外します。



- 2 デュアル充電器連結用コネクタを連結させます。



- 3 裏面に連結用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様にして最大3台まで連結することができます。



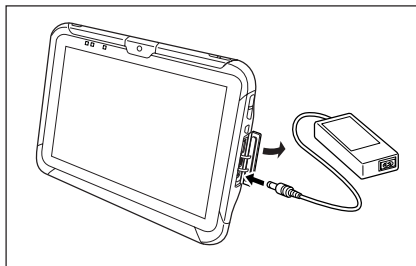
使用上のご注意

- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 充電中に充電池が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電中は充電器の上にカバーをするなど物を乗せないでください。
- 充電中は充電池を外したりACアダプタを抜いたりしないでください。
- 充電池の着脱を何回も繰り返すと、充電池の劣化の原因となります。
- 連結用アタッチメントはデュアル充電器一台に一つ付属しています。複数のデュアル充電器を連結すると、連結用アタッチメントが一つ余ります。余った連結用アタッチメントは予備としてお使いください。

■ ACアダプタ(AD-S36120A)の取り扱い

別売のACアダプタ(AD-S36120A)で、V-T500に装着した充電電池パックを充電することができます。

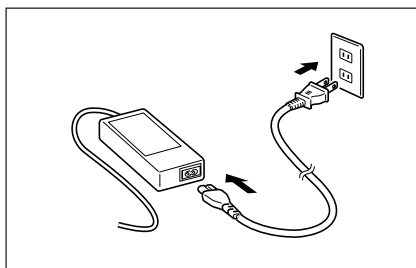
- 1 本体のDCジャックへACアダプタを差し込みます。



- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

充電が開始されたらオレンジ色が点灯します。

充電が終了したら、緑色が点灯します。



■ V-T500の充電LEDの表示

オレンジ色点灯：充電中(電池残量が6%以上)

赤色点灯： 電池残量が0~5% (5%以下だと本体は起動しません。)
充電電池パックの異常

赤色点滅： 充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯： 充電完了

* 常温で30分以上経過しACアダプタを挿し直しても赤色点灯または消灯が続く場合は異常です。ただちに使用をやめてコールセンターにお問い合わせください。

* 電池残量が5%以下になった状態でACアダプタが正しく接続されると、約0.5秒消灯してから赤色点灯します。

第 5 章

仕 様

V-T500本体の仕様

項目	区分	内容
型式		V-T500-J、V-T500WJ、V-T500-GJ
CPU		OMAP4460 1.5GHz Dualコア
プラットフォーム		Android4.0
メモリ	RAM	1GB
	FROM	16GB
表示部		10.1inch、WXGA(1280×800)、LEDバックライト TFTカラー液晶
Bluetooth®通信	通信方式	Bluetooth®Specification Ver.4.0 (Class2)
	通信距離	約5m(電波の状態や環境により変化します)
	出力	最大4dBm
無線LAN通信	標準規格	IEEE 802.11a/b/g/n準拠：全モデル
	拡散変調方式	IEEE 802.11a/g/n： OFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)直交周波数分割多重方式 IEEE 802.11b： DSSS(Direct Sequence Spread Spectrum)直接拡 散方式
	無線周波数： 中心周波数	IEEE 802.11a/n： W52：36/40/44/48ch(5.18~5.24GHz) W53：52/56/60/64ch(5.26~5.32GHz) W56：100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch(5.50~5.70GHz) IEEE 802.11b：1~14ch(2.412~2.484GHz) IEEE 802.11g/n：1~13ch(2.412~2.472GHz)
	無線周波数： 周波数範囲	IEEE 802.11a/n： 5.15~5.35GHz(W52、W53)) 5.47~5.725GHz(W56) IEEE 802.11b：2.400~2.497GHz IEEE 802.11g/n：2.400~2.4835GHz
	伝送距離	IEEE 802.11a/n(5GHz帯)：屋内30m、屋外150m IEEE 802.11b/g/n(2.4GHz帯)：屋内50m、屋外150m (伝送距離は使用環境によって異なります)
	チャンネル数	IEEE 802.11a/n： W52：4 W53：4 W56：11(nは5GHz帯) IEEE 802.11b：14 IEEE 802.11g/n：13(nは2.4GHz帯)

項目	区分	内容
無線LAN通信	出力	IEEE 802.11a : 最小12dBm、Typical13.5dBm(54Mbps通信時) IEEE 802.11b : 最小17dBm、Typical18dBm(11Mbps通信時) IEEE 802.11g : 最小12dBm、Typical14dBm(54Mbps通信時) IEEE 802.11n : 最小11dBm、Typical12.5dBm(72Mbps通信時)
	その他機能	複数のアクセスポイント間でのローミング機能
NFC	キャリア周波数	13.56MHz±7kHz
	アンテナ	磁界型ループアンテナ
	動作磁界	出力磁界強度1.5A/m以上(ケース接触時)
	ビットレート	ISO14443 Type A : 106kbps ISO14443 Type B : 106kbps Felica : 212kbps、424kbps ISO15693 : 1.65kbps
	変調方式	ASK
	変調度	10%変調、100%変調
	読み取り距離	ISO14443 Type A/B、Felica : 0mm(裏面に接触) ISO15693 : 0mm(裏面に接触)~最大50mm
	読み取り範囲	15mm×15mm(カード・タグ種に依存)
	対応カード	ISO14443TypeA、ISO14443TypeB、FeliCa、 ISO15693(一部読めないカードがあります)
WCDMA	標準規格	UMTS/W-CDMA : 3GPP release99 HSDPA : 3GPP release5
	通信機能	パケットデータ
	データ転送	Downlink : 14.4Mbps Uplink : 5.76Mbps
	変調方式	V-T500-GJ : UMTS/HSDPA/HSUPA V-T500-WJ : W-CDMA : BPSK/HPSK/QPSK HSDPA : QPSK/16QAM

項目	区分	内容
WCDMA	電波形式	V-T500-GJ : Band I : 4M19F9W Band VI : 4M19F9W V-T500-WJ : WCDMA : 5M00 G1A、G1B、G1C、G1D、G1E、G1F、G1X、G7W HSPA : 5M00 G1A、G1B、G1C、G1D、G1F、G1X、G7W
	対応バンド	Band I : Uplink : 1920~1980MHz Downlink : 2110~2170MHz Band VI : Uplink : 830~840MHz Downlink : 875~885MHz Band X IX(V-T500-WJのみ) : Uplink : 830~845MHz Downlink : 875~890MHz
	チャンネル数	Band I : 277 Band VI : 29 Band X IX(V-T500-WJのみ) : 55
	チャンネル間隔	Band I : 190MHz Band VI : 45MHz Band X IX(V-T500-WJのみ) : 45MHz
	チャンネル帯域幅	Band I : 60×2 MHz Band VI : 10×2 MHz Band X IX(V-T500-WJのみ) : 15×2 MHz
	モジュール出力	24dBm
LTE (V-T500-WJ)	標準規格	3GPP TR 37.976
	通信機能	パケットデータ
	データ転送	Uplink : 25Mbps Downlink : 75Mbps
	変調方式	QPSK、16QAM、64QAM
	電波形式	5M00 D1A、D1B、D1C、D1D、D1F、D1X、D7W、 G1A、G1B、G1C、G1D、G1F、G1X、G7W 10M0 D1A、D1B、D1C、D1D、D1F、D1X、D7W、 G1A、G1B、G1C、G1D、G1F、G1X、G7W 15M0 D1A、D1B、D1C、D1D、D1F、D1X、D7W、 G1A、G1B、G1C、G1D、G1F、G1X、G7W 20M0 D1A、D1B、D1C、D1D、D1F、D1X、D7W、 G1A、G1B、G1C、G1D、G1F、G1X、G7W

項目	区分	内容
LTE	対応バンド	Band I : Uplink : 1920~1980MHz Downlink : 2110~2170MHz
	チャンネル数	伝送帯域幅1.4MHz : 72 伝送帯域幅3MHz : 180 伝送帯域幅5MHz : 300 伝送帯域幅10MHz : 600 伝送帯域幅15MHz : 900 伝送帯域幅20MHz : 1200
	チャンネル間隔	Band I : 190MHz
	チャンネル帯域幅	Band I : 60×2 MHz
	モジュール出力	LTE : +23dBm
	GPS	一般仕様
測位方式		Standalone-GPS(S-GPS)
感度		捕捉(獲得)感度 : -146dBn トラッキング感度 : -162dBm
SAM	規格	ISO 7816 IC Card standard
	一般仕様	3V、1.8V、5V SAMカードのサポート
SIM	規格	ISO 7816 IC Card standard
	一般仕様	3V、1.8V SIMカードのサポート
SDカードスロット		SDHCメモリカード対応
microSDカードスロット		microSDHCメモリカード対応
HDMI		miniHDMI(Out)
USB		ホスト : USB2.0 Type A×1 クライアント : USB2.0 Mini-B×1
カメラ		約500万画素
電源	メイン電源用	充電電池パック HA-M20BAT
	バックアップ電源用	リチウム充電電池(内蔵)
充電仕様	充電時間	約6時間
消費電流		V-T500-WJ、V-T500-GJ : DC4.0A(充電電池パック使用時) V-T500-J : DC2.6A(充電電池パック使用時)
電池寿命		V-T500-WJ、V-T500-GJ : 約12時間*1 V-T500-WJ、V-T500-GJ、V-T500-J : 約10時間*2 *1 操作(WANデータ通信3分、画面参照1分、アプリ操作6分の繰り返し)3時間、待機(WANデータ通信待受状態で画面OFF)9時間の場合 *2 データ通信1分、動画再生1分、画面参照3分、待機(画面OFF)10分を繰り返した場合

項目	区分	内容
動作温度		-20~50℃
動作湿度		10~90%RH(結露なきこと)
落下強度		1.0m(試験値であり、保証値ではありません)
防水防塵性能		IP54準拠
大きさ		約190(高さ)×269(幅)×14.4(厚さ)mm
質量		約780g

■ オプション(別売品)の仕様

LAN/USBクレードル(HA-M6210)

項目	区分	内容
LAN仕様	通信方式	IEEE 802.3準拠
	メディアタイプ	10base-T/100base-TX自動切換
USB仕様	規格	USB Ver2.0準拠
	伝送速度	480Mbps(Max)
充電仕様	充電方式	定電流電圧方式
	充電時間	約6時間
電源部	使用電源	AD-S36120A
	消費電力	DC12V 3.0A
	本体(V-T500)出力	接触：DC12V 2.0A
	USBホスト出力	DC5V 500mA(Max)
外形寸法・質量	外形寸法	約292(幅)×98.5(奥行)×64(高さ)mm(ゴム足含む)
	質量	約332g
動作環境	動作温度	0~40℃
	動作湿度	10~90%RH(結露なきこと)

置くだけ充電器(HA-M30CHG)

項目	区分	内容
充電仕様	充電方式	定電流電圧方式
	充電時間	約6時間
電源部	使用電源 消費電力	AD-S36120A
	本体(V-T500)出力	DC12V 3.0A
外形寸法・質量	外形寸法	接触：DC12V 2.0A
	質量	約292(幅)×98.5(奥行)×64(高さ)mm(ゴム足含む)
動作環境	動作温度	約297g
	動作湿度	0~40℃
		10~90%RH(結露なきこと)

デュアル充電器(HA-M32DCHG)

項目	区分	内容
充電仕様	充電時間	1個を装着した場合：4時間 2個を同時に装着した場合：6時間
電源部	使用電源	AD-S90190C-JP
	消費電力	DC19V 4.74A
外形寸法・質量	外形寸法	約196(幅)×60(奥行)×55(高さ)mm
	質量	約242g
動作環境	動作温度	0～40℃
	動作湿度	10～90%RH(結露なきこと)

カーアダプタ(HA-M37CAC)

項目	内容
入力	DC12V/24V 3A/1.5A
出力	DC7.5V 3.5A

ACアダプタ(AD-S36120A)

項目	内容
入力	AC100～240V 50～60Hz 1.2A
出力	DC12V 3.0A

ACアダプタ(AD-S90190C-JP)

項目	内容
入力	AC100～240V 50～60Hz 1.6A
出力	DC19V 4.74A

充電電池パック(HA-M20BAT)

項目	内容
公称容量	7000mAh
公称電圧	3.7V
外形寸法	約135(幅)×94(奥行)×7(高さ)mm(突起部含まず)
質量	約160g

第 6 章

付 録

■ オープンソースライセンス

ライセンス使用アプリケーション一覧

アプリケーション名	使用ライセンス
QRコードスキャナー	Apache License Version 2.0

Apache License Version 2.0

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. **Grant of Copyright License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. **Grant of Patent License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. **Redistribution.** You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

-
- (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

修理に関する窓口

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

修理の相談窓口

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日

AM9:00～PM5:30

(日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、042-503-7241にお掛けください。

修理品受付窓口

- 修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

カシオPAリペアセンター



0570-011330

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日

AM9:00～PM5:30

(土・日・祝日、年末年始、夏期休暇は除く)

住 所：〒405-0075

山梨県笛吹市一宮町東原911-3

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合、055-347-7211にお掛けください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
☎03-5334-4638(代)